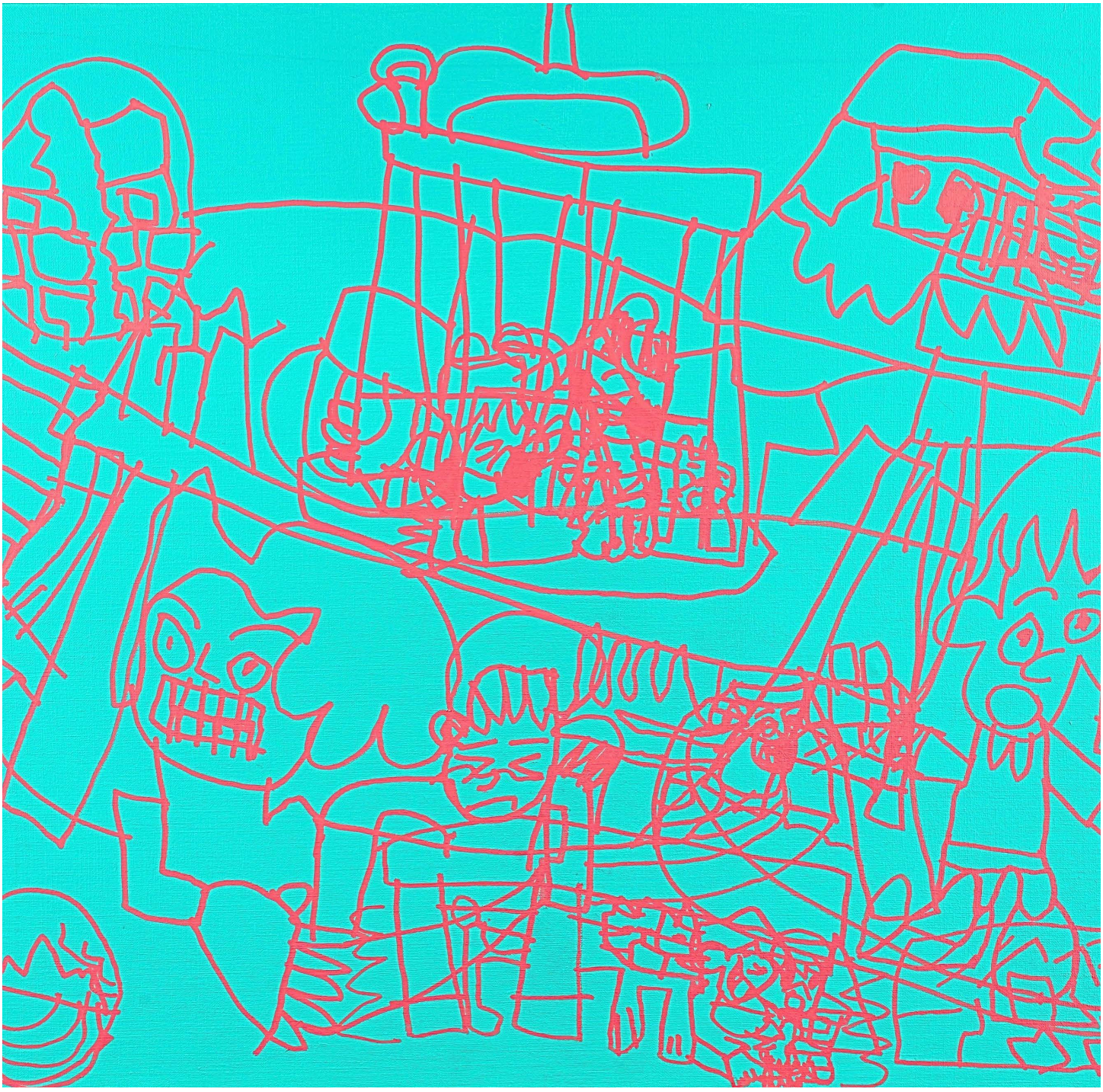
国際ロータリー第 2840 地区［群馬］2026–2027年度

Vol.3
2026.9
ガバナー月信

GOVERNOR'S
MONTHLY LETTER

To all Rotary members in RID2840



Rotary
District2840

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER
To all Rotary members in RID2840

CONTENTS

ガバナーメッセージ

「基本的教育と識字率向上月間」 …… 02
「ガバナー公式訪問講話」 …… 05

ガバナー補佐紹介 …… 10

各種報告

インターアクト年次大会 …… 11
第１回参加意欲向上委員会 …… 13
ロータリー財団委員会合同会議 …… 14
第１回地区事業検討特別委員会 …… 16
米山記念奨学生対象ロータリーセミナー及び米山学友会総会 …… 17
第１回青少年交換委員会 …… 18
第１回地区補助金委員会 …… 19
RLIファシリテーター研修会 …… 21
ローターアクト活動報告 …… 22
寄稿　第２分区B 『６RC』ロータリー旗寄贈式 …… 23
寄稿　第２分区B　2022-2023年度会長・幹事会 …… 24

お知らせ

2029-2030 年度地区ガバナー候補者（ガバナーノミニー・デジグネート）推薦についてのお願い …… 25
2026-2027年度 ガバナー公式訪問要領・ガバナー公式訪問日程表 …… 26
2026-2027年度 地区主要行事予定表 …… 30
2026-2027年度 周年行事・IM 予定表 …… 32
出席報告・My Rotary 登録率 …… 33
新会員紹介 …… 35
新会員入会実績報告（7 月末日現在） …… 37
湯澤　晃ガバナーエレクト事務所　開設のご挨拶 …… 38
ガバナーより一言
・「寄付をする」から、「何をするか」へ
　― 私が考えるロータリー財団 ― …… 39
・ローターアクトを、もう一度考える
　― Rotaryのリブランディングから見えてきた新しい価値 ― …… 42
・ロータリー国際大会を考える
　― その旅を価値あるものにするのは、自分自身 ― …… 44
・ロータリーにつながり続けるために
　― クラブと会員の関係を考える ― …… 47
ガバナー月信の表紙について …… 50
ガバナー事務所よりお願い …… 51

ガバナーメッセージ
「基本的教育と識字率向上月間」

9 月は、ロータリーの「基本的教育と識字率向上月間」です。

世界には今なお、さまざまな事情によって学校に通うことができない子どもたちや、生活に必要な読み書きを学ぶ機会を得られない人々がいます。
ロータリーは、基本的教育と識字率の向上を重点分野の一つとして、子どもたちへの教育支援、教師の育成、教材や学習環境の整備、成人への識字教育など、それぞれの地域の課題に応じた活動を世界各地で続けています。

なぜ、ロータリーは教育を大切にするのでしょうか。
教育は、単に知識を身につけるためのものではありません。
文字を読み、情報を理解し、自ら考え、判断する。そこから、自分の人生を自分で選択する力が生まれます。
学ぶ機会を得ることは、その人の可能性を開くこと。
私は、そこにこの月間の大切な意味があると思います。

日本の地域にも「学ぶ機会」の課題がある
では、日本のロータリアンは、この月間をどのように受け止めればよいのでしょうか。

日本では義務教育制度が整い、高い識字水準があります。そのため、「基本的教育と識字率向上」は、どこか遠い国の課題のように感じるかもしれません。
しかし、視点を「文字を読み書きできるか」から、「誰もが必要な学びの機会を得られているか」へ広げてみると、私たちの地域にも課題が見えてきます。
家庭環境などによる学習機会の差、不登校や孤立、外国につながる子どもや住民への日本語学習支援、障害などによって学習に困難を抱える人への支援、デジタル化による情報格差。
学ぶ機会から取り残される理由は、現代の日本ではむしろ多様になっているのではないでしょうか。

だからこそ、世界で行われている活動をそのまま日本で行うのではなく、まず自分たちの地域を見ることが大切だと思います。
私たちの地域では、誰が困っているのか。
何が足りないのか。
どのような学ぶ機会が求められているのか。
地域の声を聞くことから、ロータリーの奉仕は始まります。

私たちだからできること
地域の教育課題に向き合うとき、ロータリーには大きな強みがあります。

ロータリアンは、それぞれ異なる職業、経験、知識、そして地域とのつながりを持っています。
学校、行政、NPO、地域で活動する人たちとつながり、すでにある取り組みに新しい力を加えることもできます。自ら何かを始めるだけではなく、必要な人と必要な人をつなぐことも、ロータリーだからこそできる奉仕です。

大切なのは、「何をしてあげるか」から始めるのではなく、「何が必要とされているのか」を知ること。
そして、活動を行ったという事実だけではなく、その結果として、学ぶ機会が生まれたのか、その人の可能性が広がったのか、地域にどのような良い変化が生まれたのかまで考えることです。
そこに、奉仕のインパクトがあるのだと思います。

学ぶことは、平和にもつながる

さらに視野を広げれば、教育は平和とも深くつながっています。

学ぶことで、人は自分とは異なる考え方や文化を知ります。
知ることで理解が生まれ、対話することができる。
対話の積み重ねが、互いへの信頼を育てます。

また、学ぶ機会を持つことは、自らの未来を選択する力にもつながります。誰もが尊厳を持ち、社会とつながり、未来に希望を持つことのできる環境をつくることは、平和な社会の土台ではないでしょうか。
平和は、遠い世界だけの問題ではありません。
一人ひとりの学ぶ機会を開くことも、私たちの地域から平和をつくる一歩なのだと思います。

ロータリーの友月間 ― 今度は、私たちが学ぶ

そして９月は、日本独自の「ロータリーの友月間」でもあります。

ここまで「学ぶ機会を開く」ことについて考えてきましたが、今度は私たちロータリアン自身の学びに目を向けてみたいと思います。

『ロータリーの友』には、全国各地のクラブの活動やロータリアンの経験、ロータリーを考えるためのさまざまな情報が掲載されています。
同じロータリーであっても、地域が違えば課題も違い、クラブが違えば活動の形も違います。
自分たちのクラブの中だけにとどまらず、他のクラブの経験を知る。それによって、自分たちにはなかった視点や、新しい奉仕のヒントが見つかるかもしれません。
ぜひこの機会に『ロータリーの友』を開き、そこから得た気づきを、クラブの仲間と語り合ってみてください。

学ぶことから、行動へ

「基本的教育と識字率向上月間」と「ロータリーの友月間」。
それぞれ目的の異なる月間ですが、こうして考えてみると、一つの流れが見えてきます。
世界を知る。
地域を見る。
他のロータリーから学ぶ。
仲間と語り合う。
そして、行動する。

学ぶ機会を誰かに届けるためには、まず私たち自身が学び続けなければなりません。

そして、学んだことを自分の中だけにとどめず、仲間と共有し、地域を見る新しい視点に変え、行動につなげていく。

その行動が誰かの学ぶ機会を開き、その人の可能性を広げ、地域に良い変化を生み出す。そして、人と人との理解と信頼を育てていく。

そこまでつながったとき、二つの月間は、単なる 9 月のテーマではなく、私たちのロータリー活動そのものにつながってくるのではないでしょうか。

9 月、改めて皆さんの地域を見渡してみてください。

そこには、まだ開かれていない「学ぶ機会」はないでしょうか。
そして、その扉を開くために、私たちロータリアンには何ができるでしょうか。

私たち自身が学ぶことから、新しい奉仕を始めてみませんか。

基本的教育と識字率向上月間のリソース

◇ 教育の支援（https://www.rotary.org/ja/our-causes/supporting-education）
◇ 奉仕プロジェクトセンター
（https://map.rotary.org/ja/project/pages/project_showcase.aspx）
◇ ロータリー行動グループ
（https://my.rotary.org/ja/participate/programs/join-a-rotary-action-group）
◇ パートナー
（https://my.rotary.org/ja/learning-reference/about-rotary/partners）

〈ラーニングセンターコース一覧〉
（https://my-cms.rotary.org/ja/document/learning-center-course-catalog）
本月間に関連するコースもございますので、詳細はラーニングセンターコース一覧をご確認ください。

「基本的教育と識字率向上」の分野でのグローバル補助金プロジェクトをお考えの方へ
◆ My ROTARY
「グローバル補助金」
（https://my.rotary.org/ja/knowledge-and-resources/resources-and-reference/global-grants）
◆ 重点分野の基本方針
（https://my.rotary.org/ja/document/areas-focus-policy-statements）
◆「基本的教育と識字率向上」グローバル補助金 授与のガイドライン
（https://my-cms.rotary.org/ja/document/basic-education-and-literacy-guidelines-global-grant-funding）
ロータリーボイスにも事例が多数あります（https://rotaryblogja.org/）

ロータリーの友月間リソース

◇ ロータリーの友ホームページ（https://www.rotary-no-tomo.jp/index.php）
◇ ロータリーの友電子版（https://www.tomo-archive.net/）

ガバナー公式訪問講話

人生の柱となるロータリーへ
― ロータリーを開く ―

今年度のガバナー公式訪問では、「人生の柱となるロータリーへ ― ロータリーを開く ―」をテーマに、二年目のガバナーとして、今、皆様と共有したいことをお話ししています。

私たちにとって、ロータリーとは何なのか。
何を大切にし、何を未来へつないでいくのか。
そして、ロータリーを通して、どんな良い変化を生み出していくのか。

昨年度、多くのクラブを訪問し、多くのロータリアンと出会いました。その経験から見えてきたこと、そして、それを今年度の行動にどうつなげていくのか。
公式訪問を重ねる中で、私自身の考えもさらに深まり、講話の内容も変わっていくかもしれません。今回は、現時点で私が公式訪問において皆様にお伝えしていることを、文字にしてお届けしたいと思います。

人から学び、人によって成長する
一年間の公式訪問を通して、改めて感じたことがあります。

ロータリーの未来は、人がつくる。

RI が変わり、地区が変わり、制度や仕組みが変わっても、最後にロータリーを動かすのは人です。一人ひとりが何を思い、何を語り、どう行動するのか。その積み重ねがクラブをつくり、ロータリーの未来をつくります。

そして、この一年で最も大きく変わった一人は、私自身だったのかもしれません。

ガバナーという役割をいただいたことで、それまで以上に多くの人と出会い、多くのクラブを知り、国内外でさまざまなロータリーに触れる機会をいただきました。自分とは違う考え方や価値観に触れ、知らなかったことを知り、ときには自分自身の考えを見直す。その経験を通して、一人の人間として成長させていただいたと感じています。

ガバナーという役職そのものが、人を成長させるわけではありません。人と出会い、人の話を聴き、一緒に行動する。そこから生まれる気づきが、人を成長させるのだと思います。

だからこそ、今年度もできるだけ多くの皆様と直接お会いし、話をしたいと思っています。それは公式訪問だけではありません。クラブの例会でも、奉仕活動でも、懇親の場でも構いません。声をかけていただければ、いつでも、どこへでも伺いたい。

ガバナーとして何かを伝えに行くだけではありません。皆様がロータリーに何を感じ、クラブをどうしたいと思っているのか。何を楽しみ、何に悩み、どんな未来を描いているのか。私自身が皆様から学びたい。そこで得た気づきを 2840 地区へ持ち帰り、また皆様に返していく。そんな双方向の地区でありたいと思っています。

同じロータリーでも、同じクラブは一つとしてない

昨年度の公式訪問で、多くのクラブから気づきをいただきました。そこで強く感じたのは、同じロータリーであっても、同じクラブは一つとして存在しないということです。

歴史も、地域も、会員構成も、文化も、奉仕のあり方も違います。そして、その違いの中に、それぞれのクラブの魅力があります。だから、すべてのクラブに一つの答えを当てはめる必要はありません。

クラブの未来も、RI や地区から与えられるものではありません。

「このクラブをもっと良くしたい」
「もっと地域に必要とされるクラブにしたい」

その思いを持つ人がいて、初めて何かが動き始めます。

二年目の今年、私は、これまで積み重ねてきたものを大切にしながら、これから必要になるものを加えていきたいと考えています。変えるために変えるのではありません。何を大切にし、何を加え、何を未来へ手渡していくのか。その視点を、皆様と共有したいと思います。

ロータリーを開く

そこで、今年度大切にしている言葉が、「ロータリーを開く」です。

「開く」とは、これまでを否定することでも、何でも新しくすることでもありません。奉仕の精神、友情と信頼、人と人とのつながり。時代が変わっても、大切にしたいものがあります。

伝統も同じです。伝統を大切にすることは、同じ形をそのまま保存することではありません。その価値を理解し、大切なものを受け継ぎながら、実践の形を次の世代へ手渡していくことだと思います。

そのうえで、ロータリーが持っている価値、魅力、可能性をさらに広げていく。私は「開く」を四つの視点から考えています。

人に開く。クラブを開く。地域に開く。未来に開く。

その出発点は、私たち自身が心を開くことです。

ロータリアンは一人ひとり違います。職業も、経験も、価値観も、ロータリーへの関わり方も違います。一つの「こうあるべき」に人を合わせるのではなく、それぞれの違いをクラブの力にする。「自分にも役割がある」「自分の経験をここで生かせる」。そう感じられるクラブであることが、人が自ら関わる力につながります。

そして地域に対しても、ロータリーだけで完結するのではなく、地域の声を聴き、地域とともに考え、ともに行動する。会員にとって価値あるクラブであり、地域に必要とされるクラブであること。そのために、ロータリーを開いていきたいと思います。

人生からロータリーへ、ロータリーから人生へ

今回の講話のもう一つの柱が、「人生の柱となるロータリー」です。

もちろん、人生の柱はロータリーだけではありません。仕事がある。家庭がある。地域との関わりがある。ロータリー以外のさまざまな社会活動に取り組んでいる方もいます。それぞれの場所で人と出会い、経験を重ね、異なる価値観に触れる。そのすべてが、一人の人間をつくっています。

だからこそ、その経験を分けて考える必要はありません。仕事で得た経験をロータリーへ。地域やほかの社会活動で得た気づきをロータリーへ。そして、ロータリーで得た出会いや学びを、仕事、家庭、地域、社会へ。

ロータリーは、奉仕活動を行うためだけの場所ではありません。人と出会う。自分とは違う考え方に触れる。学ぶ。一緒に行動する。そして、自分自身も成長する。私自身が、ガバナーという役割を通してそのことを実感しました。

その循環が深まったとき、ロータリーは単なる所属団体ではなく、人生の柱の一つになっていくのだと思います。

自分のロータリーを、自分の言葉で語る

その価値を、自分たちの中だけに留めていては、ロータリーは開いていきません。

そこで、これまで進めてきた「ロータリーを語ろう」を、今年度は「2.0 +」へ進めたいと考えています。活動を紹介するだけではありません。

なぜロータリーに入ったのか。どんな人と出会ったのか。何を学び、自分自身にどんな変化があったのか。一人ひとりの経験そのものが、ロータリーのストーリーです。

そして、ロータリーを伝えるのは言葉だけではありません。仲間と楽しそうに活動する姿。互いを大切にする姿。地域のために行動する姿。その姿そのものが、ロータリーを語っています。

「+」には、語るだけで終わらせず、行動へつなげるという思いを込めています。

クラブビジョンからインパクトへ

語り、行動へつなげていく先で、大切なのは「私たちは、どこへ向かうのか」を共有することです。

「私たちは、どんなクラブでありたいのか。」それがクラブビジョンです。

クラブのリーダーは毎年変わります。だからこそ、一年ごとの活動だけで終わらせず、クラブが目指す姿を会員で共有する。今年を来年へ、今の世代を次の世代へつないでいく。そして、一人ひとりが、「自分も、その未来をつくる一人だ」と思えることが大切です。

ビジョンを描いたら、行動する。そして、その結果を見る。そこで考えたいのが、「何をしたか」ではなく、「何が変わったか」という視点です。

植樹をした。講演会を開催した。支援活動を行った。そこで「無事に終わりました」と終わらせない。その活動によって、誰に、どんな変化が生まれたのか。ロータリーのビジョン声明が示す「持続可能な良い変化」、すなわちインパクトを見ることが大切です。

そして変化するのは、奉仕を受ける側だけではありません。地域と関わり、人と出会い、ともに行動する中で、私たち自身も学び、変わります。ともに行動し、ともに変わっていく。そこにも、ロータリーのインパクトがあると思っています。

「参加してください」から「参加したい」へ

ここで、クラブの中にも目を向けたいと思います。

ロータリー、ローターアクトの基本はクラブです。そして、そのクラブをつくるのは会員一人ひとりです。だからこそ、単に参加を促すだけではなく、参加意欲を高めることが大切です。

「参加してください」ではなく、「参加したい」と思えるクラブをつくる。自分にとって意味がある。仲間とつながっている。そして、自分自身も成長できる。人は、そこに価値を感じたとき、自ら関わり始めます。

そして、Have fun. 一緒に考える。一緒に動く。一緒に笑う。

単に「楽しかった」で終わる楽しさではありません。仲間と何かを成し遂げた。誰かの役に立てた。自分にも役割があった。その実感が、「また一緒にやりたい」という次の行動を生みます。

「ここにいたい」から「ここに入りたい」へ

その積み重ねの中で、Membership が深まります。

Membership は、単に会員であるという資格だけではありません。関わる。役割を持つ。仲間とつながる。価値を共有する。その中で、「このクラブの一員である」という帰属意識が育っていきます。

その先に Retention があります。

Retention は、単に退会を防ぐことではありません。「辞めないでください」とお願いするのではなく、会員自身が、「ここにいたい」と思えることです。そして、「ここにいたい」と思えるクラブは、外から見ても、「ここに入りたい」と思えるクラブになるはずです。

クラブの維持・発展には、新しい仲間を迎えることも必要です。新しい価値観。新しい経験。新しい発想。新しいつながり。新会員を迎えることは、単に人数を増やすことではありません。クラブの可能性を広げることです。

Retention と新会員獲得は、別々の課題ではありません。その根にあるのは、人が関わりたいと思える、魅力あるクラブをつくること。そこに尽きると思います。

人と人との間から、平和へ

クラブの中で仲間を尊重し合い、地域の声に耳を傾け、異なる価値観を持つ人とも対話を重ねる。その延長線上に、私は平和があると思っています。

平和とは、争いがない状態だけではありません。人を理解しようとすること。違いを認めること。対話を続けること。そして、人と人との間に信頼を築くこと。

それは、遠い世界だけの話ではありません。クラブの中で仲間を尊重する。地域の声に耳を傾ける。異なる価値観を持つ人とも対話する。そして、国や文化を越えて世界の仲間とつながる。

ロータリーの原点である「人と人」の間に信頼を築く。その身近な積み重ねから、平和への扉も開いていくのだと思います。

2840地区から、未来を開く

ロータリーの未来は、誰かがつくってくれるものではありません。自分から心を開く。自分から語る。自分から関わる。仲間と一緒に行動する。そして、これは私自身への言葉でもあります。

今年度もクラブへ行きます。公式訪問だけではありません。声をかけていただければ、いつでも、どこへでも伺います。皆様と話をしたい。皆様の声を聴きたい。そして、私自身も学びたい。

地区の外にも出ます。新しい人と出会い、新しい考え方に触れます。出会う。聴く。学ぶ。行動する。そこで得た気づきを、また 2840 地区の皆様へ返していきます。

ガバナーとしての二年間を通して、私自身がロータリアンとして、そして一人の人間として成長させていただいているように、一人ひとりにとってロータリーが新しい出会いと成長の場であってほしいと思います。

その積み重ねが、人を変え、クラブを変え、地域に良い変化を生み出す。ロータリーを人生に生かし、人生をロータリーに生かす。その循環の中で、ロータリーが私たちの人生の柱の一つになっていく。

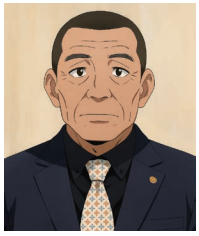
未来は、誰かが開いてくれるものではありません。私たち一人ひとりが開くものです。

Together. Have fun.

2840 地区から、一緒にロータリーの未来を開いていきましょう。

ガバナー補佐紹介

	・役職 ・氏名（クラブ名） ・勤務先 ・おススメのお店（所在地）
	第１分区 菊川　善明（前橋RC） 菊川工業㈱ 結城屋　三俣店 （前橋市三俣町）
	第２分区Ａ 草処　晋一（桐生赤城RC） 草処建設㈱ 旬彩　きむら （みどり市大間々町）
	第２分区Ｂ 大木　孝之（伊勢崎東RC） ㈱大木 もつ煮屋　日の出食堂 （伊勢崎三室）
	第３分区 井汲　憲治（高崎ｼﾝﾌｫﾆｰRC） 医療法人　石倉歯科医院 馳走 なか川（高崎市和田町）
	第４分区Ａ 荻原　丈始（新田RC） 荻原建設㈱ 近野屋 （太田市新田木崎町）

	・役職 ・氏名（クラブ名） ・勤務先 ・おススメのお店（所在地）
	第４分区Ｂ 小暮　雅丈（館林RC） ㈱小暮商店 ジョイハウス桃林 （館林市本町）
	第５分区 齋藤　清海（渋川RC） ㈱コモチ 中華料理　四川 （渋川市川島）
	第６分区 小貫　智太郎（藤岡南RC） 群馬セラミック㈱ あんず（藤岡市藤岡）
	RAC担当 青山　豊（桐生西RC） （有）ダスキン渡良瀬 わたなべ食堂（桐生市三吉町）

インターアクト年次大会
大会テーマ「夢のみつけかた」

● 日　時：2026年7月18日(土)9:00～13:00
● 会　場：メガネのイタガキ文化ホール(伊勢崎市文化会館)
● ホスト校：四ツ葉学園中高教育学校
●ホストクラブ：伊勢崎南ロータリークラブ
●参加者：　来賓及び関係者7名、ロータリアン74名、インターアクター164名、顧問教諭20名
　　総勢265名
●報告者：　地区IA委員長　田原明岬(伊勢崎南RC)



『夢のみつけかた』を大会テーマに掲げ2026-2027 年度年次大会を四ツ葉学園中高教育学校 JRC・インターアクト部が主催となり、県内 15 校のインターアクターの皆様や関係者の皆様の参加のもと、メガネのイタガキ文化ホールにて開催されました。

基調講演は、帝京大学法学部政治学科教授の森吉弘氏にお願いし、高校生の今、大切なのは「夢を決めること」よりも、「自分を知ること」。自分はどんなことにワクワクするのか、どこで人の役に立てそうか。そのヒントは、日々の学びや、出会いの中にあり、ときには興味のないことにも、一歩手を伸ばしてみる。その小さな行動が、未来を広げてくれます。あなたの「これから」を、一緒に考えてみませんか。についてお話しいただきました。

● 当日のスケジュール

9:00～ 9:50　受付・記念撮影
9:50～10:10　開会式
10:10～11:30　活動報告

（休憩１０分）
11:40～12:20　基調講演
12:30～13:00　閉会式

● ご出席いただいたご来賓の方々

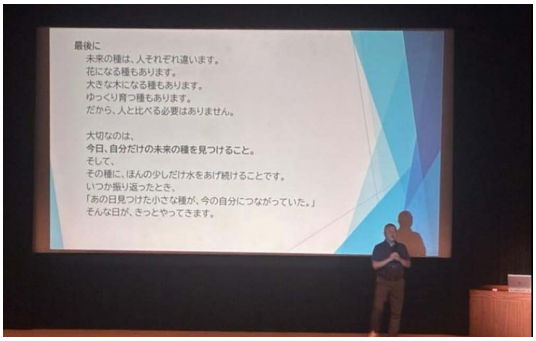
群馬県知事	山本一太　様
群馬県教育委員会教育長	平田郁美　様
伊勢崎市長	臂泰　雄　様
伊勢崎市市教育委員会教育長	三好賢治　様

基調講演にて

「夢のみつけかた」

帝京大学法学部政治学科
教授　森吉弘





インターアクト年次大会　大会テーマ「夢のみつけかた」

不安定な天気の中での年次大会でしたが、公務多忙の中、臨席頂いた来賓の皆様をはじめ日頃よりお世話になっている学校関係者の皆様、提唱クラブのロータリアンの皆様ご参加ありがとうございました。そしてホスト校を見事に務めあげた四ツ葉学園中高教育学校 JRC・インターアクト部、さらには、提唱

クラブの伊勢崎南ロータリークラブのもと 2026-27 年度インターアクト年次大会が滞りなく無事に終了いたしました。次年度ホスト校の樹徳高等学校、提唱クラブである桐生南ロータリークラブの皆さんどうぞよろしくお願いします。



四ツ葉学園中等教育学校JRCインターアクト部から次年度ホスト校　樹徳高等学校へ大会バナーの引継ぎ



四ツ葉学園JRC・IAと伊勢崎南RCは参加されました皆様に感謝いたします。

第１回　参加意欲向上委員会

● 日　時：2026年7月21日(火)14:00～15:00
● 会　場：前橋問屋センター会館　ガバナー事務所
● 出席者：竹中　隆ガバナー(高碕北RC)、山田邦子アドバイザー(前橋RC)、
星野儷日委員長(桐生南RC)、下田恭子副委員長(伊勢崎中央RC)、
島田峰子委員(伊勢崎東RC)、高橋寿美江委員(高崎シンフォニーRC)、
春山和久委員(渋川みどりRC)、中澤　翔委員(沼田RAC)、相川北斗地区副幹事(安中RC)、
前島正樹地区副幹事(安中RC)
● 報告者：地区副幹事　前島正樹(安中RC)

会議内容
(1)竹中　隆ガバナー挨拶
(2)山田邦子アドバイザー挨拶
(3)自己紹介
(4)本年度事業について

・過去のDEI推進委員会の活動の結果を通じて、クラブ会員の参加意欲を高めるための施策を行うために、地区内のクラブにメイクアップを促す
・各クラブにメイクアップ運用の実績調査を行い、地区内でメイクアップがしやすい仕組み・組織化の構築をする
・メイクアップを各クラブが門戸を広げる活動を促す(うなぎ食べ比べ等)
・ウェルカムクラブの例会情報を、月信にGoogle Formを活用して掲載しやくすく、閲覧しやすい仕組みを作る
・＃２８４０メイクアップ　といったタグを使って、例会参加の様子をXやインスタにあげることで、他クラブの取り組みや雰囲気が伝わりやすくなる。参加しやすくなる。
・大会などで表彰式を行う
（１年間で、メイクアップを多くした方や多くメイクアップを受け入れたクラブなどを表彰式形式で発表する、その際に受賞した会員にスピーチをしてもらうなどの取り組みをすることで参加向上につなげていく）

(目標)
※他クラブへのメイクアップ数を前年比の10%増を目指す(各クラブで)

次回委員会開催日
２０２６年　9月17日(木)13:30～予定







ロータリー財団委員会　合同会議

● 日　時：2026年7月25日(土)10:00～12:00
● 会　場：前橋問屋センター会館　春夏の間
● 出席者：竹中　隆ガバナー、森田高史パストガバナー、湯澤　晃ガバナーエレクト、
板橋一博ガバナーノミニー、櫻井正晴代表地区幹事、小林洋樹ロータリー財団委員会委員長、
各ロータリー財団委員会委員、水石清治ポリオプラス・資金推進委員会委員長、
各ポリオプラス・資金推進委員会委員、
上柿敬一資金管理・平和フェローシップ委員会委員長、
唐沢健二地区補助金委員会委員長、各地区補助金委員会委員、
石川好男グローバル補助金委員会委員長、各グローバル補助金委員会委員、
ロータリー財団委員会担当地区副幹事
● 報告者：地区副幹事　飯島岳吏(安中RC)

2026年7月25日10:00～前橋問屋センター会館　春夏の間にてロータリー財団委員会合同会議が行われた。

始めに竹中隆ガバナーより挨拶があり、次に森田高史ロータリー財団委員会アドバイザーの挨拶そして小林洋樹ロータリー財団委員会委員長より趣旨説明が行われた。

その中でこの会議の目的と進行の説明があり、年度初めの顔合わせと所属委員会および他委員会の活動計画・目的の共有が必要だとあった。

財団事業の基本方針としては、財団事業の理解促進と各プログラムの趣旨・繋がりへの理解を深める事、災害対応や地域への影響を理解した事業運営の必要性を共有、世界のポリオ撲滅、補助金活用の促進、平和フェローシップ推進を基本軸とし寄付の有効活用を支援する等と説明があった。

次に各委員長の活動方針と報告があり、休憩後3分科会に分かれた。

Aグループ(地区補助金／資金管理・平和フェローシップ)

当地区では、全クラブが地区補助金事業を活用し、報告書も適切に提出されている。これまで財団から資金使途の監査を受けてないことは、地区の管理体制への信頼の表れと受け止められる。今後は、地区補助金の安定運営を継続するとともに、グローバル補助金の活用拡大により一層取り組んでいく。

Bグループ(グローバル補助金)

奨学金事業の運営と課題について話し合い、従来の12月末締め切りでは選考や手続きが翌年1月以降となり、奨学生が9月から通学することを考慮すると非常に慌ただしい為、申請締め切りを10月末に前倒しし、遅くとも6月には決定通知を出せるようにする。

10月の締め切り後、11月後半に応募参加者を集めてセミナーを開催し、奨学金の意義を理解させ留学で成果を上げる目的意識を持ってもらう。セミナー参加を応募条件に盛り込む案も検討。

過去に連絡が途絶えた奨学生もいたため、今後は奨学生に対し写真付きの簡単な月次活動報告をメールで提出することを義務付けする。

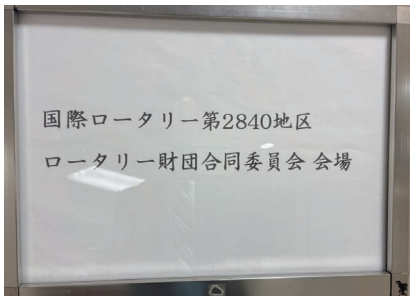
地区またはクラブ主体でVVT(職業研修チーム)事業の実施要望があり話し合いをしたが地区が主体となるよりもクラブや分区単位での実施が望ましいとの意見もあり、地区が主体となる場合は地区内クラブへのメリットを明確にする必要がある。

Cグループ（資金推進・ポリオプラス）

　ポリオワクチン接種の現状と寄付金の改善に向けた検討事項（不活性ワクチンの普及、より手軽な摂取方法の導入、寄付の促進など）について議論され特にポリオプラスソサエティを2840地区の会員に支援促進とクラブへの負担軽減策について検討された。

　各クラブへの連絡方法、連絡頻度、連絡内容、そしてクラブの活動状況に関する情報提供をお願いする。

各分科会、協議終了後に解散となった。















第 1 回 地区事業検討特別委員会

● 日　時：2026年7 月25日（土）13: 00〜14: 30
● 会　場：前橋問屋センター会館　幸の間
● 出席者：竹中　隆ガバナー
　　中野正美パストガバナー、森田高史パストガバナー、保坂充男パストガバナー
　　森　末廣パストガバナー、湯澤ガバナーエレクト、板橋一博ガバナーノミニー
　　松崎真祐伊勢崎ローターアクト会長、櫻井正晴地区幹事
● 報告者：担当副幹事　川島　博（安中RC）

竹中隆ガバナー年度の第 1 回地区事業検討特別委員会が前橋問屋センター会館で開催されました。

地区事業検討特別委員会は今年度より始まった委員会であり、特定の期間に集中して議論を行うことにより各事業が各クラブに良い影響や気づきをもたらす事を目的として設置され、今回は青少年交換と米山記念奨学生事業について議論をされました。

協議事項①として青少年長期交換プログラムについて意見交換をされました、今年度 3 名次年度目標 5 名に対しホストファミリーの確保が困難、ローテックスの協力人数の確保、危機管理の徹底、5 名に増えることによって予算が不足するなど議論されました。

協議事項②として米山記念奨学事業について意見交換をされました、奨学生の受け入れ人数、予算、ロータリアン 1 人あたりの年間寄付額を今後も続ける必要性について議論をされました。

当地区の寄付率は全国でもトップクラスでありますが、現状奨学金は外国人留学生のみが対象ですが日本人学生も対象にすべきではないかとの意見もありました。

議題

・ 地区を代表する事業となる可能性のある事業についての意見交換
　地区内の一部の分区やクラブでは、会費から資金を集め独自の奨学金事業（中学生、高校生、養護施設、留学生を対象）を実施している。
　各クラブの行っている奨学金事業を小冊子等にまとめ、全会員に紹介する案が提案され現況報告書も活用してみてはどうかと言う意見もありました。

司会　代表地区幹事　櫻井正晴

米山記念奨学生対象
ロータリーセミナー及び米山学友会総会

● 日　時：2026年7月25日(土)　15:30～20:00
● 会　場：ホテルメトロポリタン高崎
● 出席者：竹中　隆ガバナー、竹内正幸米山記念奨学委員会アドバイザー、
田中久夫米山記念奨学会常務理事、森田高史米山記念奨学会評議員、
湯澤　晃ガバナーエレクト、板橋一博ガバナーノミニー、櫻井正晴代表地区幹事、
廣木晴久地区幹事、矢内良春米山記念奨学委員長他、米山委員17名、
川島博米山記念奨学委員会担当副幹事、佐藤宗孝米山記念奨学委員会担当副幹事、
米山奨学生29名、学友会員12名
● 報告者：米山記念奨学委員　齊藤一則(館林ＲＣ)



今年度、委員長職二年目を迎えられた矢内良春米山記念奨学委員長肝いりの事業、米山奨学生ロータリーセミナーが初めて開催されました。本事業は「米山記念奨学生にロータリーを、ロータリアンとはどういう人なのかを、そして我が群馬県を知ってもらいたい！」という目的で行われました。講話途中、委員長から奨学生へ質問する等の飽きさせない設えと、矢内委員長の軽妙かつ真摯な語り口に引き込まれるように奨学生達は皆、時には笑顔で、時には真剣な眼差しで受講していました。次に、フォン米山学友会副会長より自己の経験に基づいた奨学生生活を伝えて頂きました。こちらも実体験に基づくお話でしたので、皆頷くように聞き入っていました。その後、グループディスカッションへ。時間が足りなくなるほど白熱し、思い思いの意見を積極的に述べる姿がとても印象的でした。最後に竹内正幸アドバイザーから力強いお言葉を頂き、皆襟を正すかのような面持ちでセミナーは幕を閉じました。

続いて米山学友会総会が行われました。本総会で趙会長からフォン副会長へ会長職のバトンが渡されました。趙会長は体調不良を押して任期を全うされました。本当にお疲れ様でした。フォン新会長は、趙前会長を労うとともに、引続き楽しい学友会を、そして母国と日本、ひいては母国と群馬県の架け橋となれるような学友会にしたいとご挨拶されました。一人一言タイムも盛り上がり、学友会員は仕事での活躍を、奨学生は励んでいる勉学や学校生活、例会参加での楽しみを、時間を忘れて発表していました。皆本当に優秀で、過去から今までの努力に頭が下がる思いでいっぱいでした。学友会員、奨学生、そしてロータリアンが一体となった親睦会は、国籍も身分も年齢も、なにもかも分け隔てなく交流ができ、毎回本当に素晴らしい時間だと感じます。可能性の塊である若き学友会員と奨学生の未来永劫のご活躍を祈念して筆を擱きたいと思います。



第１回　青少年交換委員会

● 日　時：2026年7月26日　10:00～12:00
● 会　場：前橋問屋センター会館　ガバナー事務所
● 出席者：竹中　隆ガバナー、湯澤　晃ガバナーエレクト、板橋一博ガバナーノミニー
新井　聡青少年交換委員長、舟木　諒青少年交換副委員長、宇田榮二青少年交換副委員長、
久保貴則青少年交換委員、飯島芳臣青少年交換委員、眞下康久青少年交換委員、
中山雅之青少年交換委員、飯塚ももこROTEX、茂木大和ROTEX、
櫻井正晴代表地区幹事、川島　博地区副幹事
● 報告者：地区副幹事　川島 博（安中RC）

---

7 月 26 日、前橋問屋センター会館内のガバナー事務所において、2026-27 年度第 1 回青少年交換委員会を開催しました。

はじめに、竹中　隆ガバナー、湯澤　晃ガバナーエレクト、新井　聡青少年交換委員長より挨拶がなされました。

委員会では、今年度の事業計画や派遣・受入学生の状況について報告があり、今後の選考会の実施に向けた準備や、青少年交換プログラムの現状と課題について協議しました。

特に、交換留学事業の成果や意義を地区内クラブへ広く周知し、参加者の拡大につなげることの重要性を再確認しました。また、RI（国際ロータリー）の規程を遵守した適正な事業運営、「みなし派遣」の防止、認定審査に向けた書類整備など、安全で信頼性の高いプログラム運営に努めることを確認しました。

さらに、ローテックス（帰国生）の役割を明確化し、派遣学生・受入学生への支援体制の充実や、広報活動の強化、情報共有体制の整備についても意見交換を行いました。

今後は、8 月 23 日に予定している派遣学生選考会に向けた準備を進めるとともに、青少年交換事業の魅力を広く発信し、より多くの青少年が国際交流を通じて成長できる機会を提供できるよう、委員会一丸となって取り組んでまいります。

閉会にあたり、板橋一博ガバナーノミニーより挨拶をいただき、青少年交換事業の意義と、未来を担う青少年を育成していく重要性についてのお言葉をいただき閉会となりました。









第１回　地区補助金委員会

● 日　時：2026年8月1日（土）　10：00～12：00
● 会　場：前橋問屋センター会館　春の間
● 出席者：ロータリー財団委員会 委員長 小林洋樹（前橋RC）、副委員長 石井英智（前橋南RC）
ポリオプラス委員会 委員長 水石清治（沼田RC）、委員 鷹巣　修（伊勢崎南RC）
資金管理委員会 委員長 上柿敬一（伊勢崎中央RC）
地区補助金委員会 委員長 唐沢健二（中之条RC）、副委員長 草処晋一（桐生赤城RC）
委員 山形　剛（桐生西RC）、小此木能信（高崎RC）、加瀬揚彦（館林東RC）
原　直道（渋川RC）、石井　隆（藤岡RC）、片桐正人（前橋RAC）
地区副幹事　佐藤宗孝（安中RC）、松岡将之（安中RC）
● 報告者：地区副幹事 松岡将之（安中RC）

---

8 月 1 日（土）、前橋問屋センター会館において「第１回　地区補助金委員会」が開催されました。9 月に開催の「補助金管理セミナー」の打ち合せほか、下記の通り、地区補助金の報告・申請に関する大変重要な会議となりました。

■9月5日「補助金管理セミナー」について

◯集合時間の変更:地区補助金委員・副幹事は 11:00 集合 に変更。
会場設営：席札準備、資料配布、事前打ち合わせ等を実施。
・11:00～設営・準備 → お弁当昼食 → 12:30～分科協議会の説明・会場確認。
・登壇・受付:受付は13:00から。登壇・発表者（10分程度の発表あり）は12:30頃には会場着が望ましい。

◯ 分区協議会の目的と進め方について
・地区委員・副幹事と、各クラブの担当者（特に申請書・報告書担当者、会長、会長エレクト）との顔合わせ・情報共有が主な目的です。
・名刺交換・連絡先確認:協議開始前に必ず実施。特に申請・報告担当者の携帯電話番号が記載されているか確認（なければ控える）。
・グローバル補助金委員会からの説明・質疑応答:グローバル委員が各分科会を巡回するため、委員が入ってきたら一時中断して質疑の時間を確保する。
・今年度事業の進捗確認:各クラブの実施予定時期（具体的にいつ実施するか）を確認。
・実施後1ヶ月以内（例：7～8月実施のクラブは9月末まで）に報告書を提出するよう依頼する。
・次年度事業の見通し:11月末まで に支援先・内容を決定 → 12月中 に見積もり取得し1月申請へスムーズに繋げるよう早期準備を促す。
・講評:各分科会にいるパストガバナーやガバナー補佐に、最後に「講評」をもらう（事前に一言依頼しておく）。

◯事務・手続き上の重要注意点について

・クラブ専用口座の徹底:補助金着金後、必ずクラブ拠出金を専用口座に入金してから支払いを開始すること。個人口座や通常口座での建て替え・直接支払いはNG（資金の流れが不明になるため）。最終的に通帳残高が 0円 で完結するように証拠を残す（利息等の扱いにも注意）。
・カード払い・ネット購入（Amazon等）の対応:領収書や金額・品目が明記された明細　書を必ず報告書に添付する。
・ロータリーマークのルール:規定のテンプレート（ホームページのマニュアル一覧からダウンロード可）を使用するよう指導。
・システム（Web）の権限登録（最重要）:各クラブの事務局PCから、今年度の会長・　エレクト・プロジェクト責任者の権限登録（メールアドレス・携帯番号の入力）を事前に行わせる（これがないと担当者がWeb入力画面に入れない）。

◯ハンドブック改定・今後のスケジュール

・ハンドブックの改定方針：毎年印刷・配布していた冊子について、会員名簿や固定的なページ（2〜3頁など）を精査・削除し、「保存版」として運用する方向で検討。

今後の主要日程：

・9月5日（土）: 補助金管理セミナー（11:00集合 / 17:00〜懇親会）
・11月7日（土）: 第2回 地区補助金委員会
・2027年1月14日（木）: 補助金申請書の提出期限
・1月23日（土）: 第1回 審査会
・2月27日（土）: 第2回 審査会（2月20日から日程変更）
・4月17日（土）: 第3回 審査会（ZOOM予定）
・5月15日（土）: 最終審査会







RLI ファシリテーター研修会

● 日　時：2026年8月8日(土)13:00～16:30
● 会　場：前橋問屋センター会館　龍の間
● 出席者：竹中　隆ガバナー、湯澤　晃ガバナーエレクト、板橋一博ガバナーノミニー、
中野正美パストガバナー、足立　進パストガバナー、竹内正幸パストガバナー、
森田高史パストガバナー、保坂充勇パストガバナー、新井良和RLI推進委員長、
各RLI推進委員、各ファシリテーター予定者、櫻井正晴代表地区幹事、
廣木晴久地区幹事、三澤俊之地区副幹事、飯島岳吏地区副幹事
● 報告者：地区副幹事　飯島岳吏(安中RC)

2026年8月8日前橋問屋センター会館　龍の間にてRLIファシリテーター研修会が行われた。まず初めに竹中　隆ガバナーより挨拶があり、RLI日本支部地区代表委員、竹内正幸パストガバナーより本日の趣旨の説明があった。次に新井良和RLI推進委員会委員長よりファシリテーターの役割と準備の説明がプロジェクターを使って行われた。

ロータリーの研修文化が従来の「トレーニング(教える)」から学習者本来の「ラーニング(学び)」へと転換していることが協調された。それにより教える側主体の(正解を求める)から学ぶ側主体の(合意形成や気づきを得る)へと変化し(ディスカッションリーダー)から(ファシリテーター)へ改称され(会長エレクト研修セミナー)から(ラーニングセミナー)へと変わった。ファシリテーターは情報を教える先生ではなく、参加者の意見を引き出し共に新たな答えを創り出す進行役・まとめ役に徹することが重要であり、ファシリテーターの役割、心構え、基本技術、事前準備、テキストやガイドブックの扱い等の必要性の説明があった。

そして参加者に安心感を与える場つくり、問いかけの工夫による発言の引き出し、徹底した事前準備(参加者視点の想像、テキストの読み解き、時間配分の設計)による即効力の向上が必要であり、最終的な目標はファシリテーションを通じて会員一人ひとりのリーダーシップを育み、クラブ全体の活性化を図る事が目的である説明がされた。



15分の休憩を挟み、チームミーティング(各6セッション)で45分程度話し合いをし、閉会となった。





[ローターアクト活動報告]
2026-27 RID2840 Rotaract Conference

● 日　時：2026年7月19日(日)～20日(月)
● 会　場：伊香保温泉ホテル天坊
● 出席者：竹中　隆ガバナー、櫻井正晴代表地区幹事、青山　豊RAC担当ガバナー補佐
　　飯塚もも子地区ローターアクト代表、羽鳥昇汰地区ローターアクト幹事
　　計ロータリアン19名、ローターアクター22名
● 報告者：地区ローターアクト代表補佐　横山広樹(前橋RAC)

7月19・20日、本年度最初の地区ローターアクト行事として2026-27 RID2840 Rotaract Conferenceを開催し、地区内ローターアクトクラブ合同ガバナー代表公式訪問例会、第39回全国ローターアクト大会会場下見ツアー、ローターアクト地区連絡協議会のプログラムを実施いたしました。公式訪問として竹中　隆ガバナー・飯塚もも子地区ローターアクト代表をお招きし、地区内19名のロータリアン、22名のローターアクターの参加がありました。

13時30分に会議場「烏帽子」での合同点鐘により開会した地区内ローターアクトクラブ合同ガバナー代表公式訪問例会では、各クラブ会長が活動方針を発表して新年度の意気込みを明らかにしました。竹中　隆ガバナー、飯塚もも子地区代表の卓話を聞き、各会員が第2840地区の一員としての自覚を新たにしました。ガバナーとの意見交換の時間も設けられ、地区からの意見と各ローターアクトクラブからの意見を相互に交わせたことは、「開かれたロータリー」実現に向けて大きな前進となったと思われます。

続いて、2027年3月20・21日に開催される第39回全国ローターアクト大会の会場下見ツアーとしてホール「インペリアル」、会議室「長峰」「平安」、宴会場「五万石」など、実際に会場となる施設の見学を行いました。実際の施設を見ながら動線などの運営の検討を進めました。

その後、第1回ローターアクト地区連絡協議会を開催し、クラブ合同地区補助金事業および新潟群馬合同行事に関する協議を行いました。

プログラム終了後の懇親会は宴会場で実際の大会を想定した料理を食べ、会員は客室に宿泊して大浴場も実際に利用したことで、来年の大会本番への意気込みを高めました。万全の体制で全国のロータリアン、ローターアクターをお迎えするために、良い新年度の幕開けとなる行事となりました。ご参加いただきました皆様、まことにありがとうございました。







第２分区Ｂ 6RC　ロータリー旗贈呈式

去る８月７日、第２分区Ｂ会長幹事会において、竹中　隆ガバナーより、今年度新たに「ぐんま伊勢崎ロータリークラブ」が第２分区Ｂに仲間入りしたことを記念し、６ロータリークラブに新しいロータリー旗を贈呈していただきました。

この旗は、６クラブが同じ旗のもとに集い、クラブの垣根を越えて、さらなる結束と連携を深めていくことを促す、竹中ガバナーからの温かいメッセージであると受け止めております。

新たな仲間を迎え、６クラブが一つの分区として歩み進めることは、ロータリーの友情を深め、奉仕の輪をさらに広げるインパクトとなります。

今後もロータリーの理念のもと、クラブ間の連携と友情を大切し、６ＲＣが一体となって地域社会への奉仕に取り組み、ロータリーの魅力と価値を地域に発信出来ればと思います。

最後に、第２分区Ｂに対し、ご支援とご配慮を賜りました竹中ガバナーに６ＲＣを代表して心から御礼申し上げます。

第２分区Ｂガバナー補佐　大木孝之



左から　大崎会長（伊勢崎東）、田端会長（伊勢崎南）、赤石会長（群馬境）、大木ガバナー補佐、竹中ガバナー、村岡会長（伊勢崎）、服部会長（伊勢崎中央）、峯岸会長（ぐんま伊勢崎）

第２分区Ｂ　2022-2023 年度
会長幹事会（OB 会）開催報告

７月２８日（火）午後６時３０分より伊勢崎ＲＣ関さんが経営する「天然温泉伊勢崎ゆま～る」にて第２分区Ｂ　２０２２－２３年度会長幹事会（ＯＢ会）を開催いたしました。
前年度伊勢崎南ＲＣの会長を務めた小谷野さんの挨拶にはじまり、本年度第２分区Ｂのガバナー補佐を務める大木さんの乾杯で会が始まり、久しぶりの再会を喜び、終始和やかに親睦を深めました。

年二回ＯＢ会です。クラブの垣根を越えた親睦がさらに深まることで、より楽しいロータリー活動が出来ることと思います。

最後次年度伊勢崎南ＲＣの会長を務める斉藤さんの締めでお開きとなりました。

今後もこの出会いを大切にし、さらに親睦を深め、クラブや分区の発展に少しでも貢献出来る会になればと思います。

伊勢崎東ＲＣ　宇都木正之



左から　小谷野（南）、斉藤（南）、大木（東）、牛久保（中央）、宇都木（東）、塚越（中央）、丸橋（伊勢崎）、関（伊勢崎）

国際ロータリー第 2840 地区
各ロータリークラブ　会長　各位

2029-2030 年度
地区ガバナー候補者（ガバナーノミニー・デジグネート）
推薦についてのお願い

ガバナー　竹中　隆
ガバナー指名委員会　委員長　中野　正美

RI 細則 12 条 1 節により、2029-2030 年度の地区ガバナー候補者を本年度末（2027 年 6 月末）までに指名・推薦する必要があります。

つきましては、RI 細則 12 条 3 節 3 項（クラブによるガバナーノミニーの推薦）に基づき、2029-2030 年度国際ロータリー第 2840 地区ガバナー候補者をご推薦賜りたくお願い申し上げます。

記

地区ガバナー候補者の資格要件として、下記の各項が要求されます。詳しくは 2025 年手続要覧（42・43 ページ）をご参照ください。

（1）地区内の機能しているクラブの瑕疵なき会員であるものとする。
（2）クラブ会長を全期務めた経験があること、または最低 6 ヶ月間クラブの創立会長を務めた経験があるものとする。
（3）第 16.030 節のガバナーの任務と責任を果たす意思があり、これを果たすことができる者であるものとする。
（4）細則に定められているガバナーの資格条件、任務、および責任を熟知しているものとする。
（5）ガバナーは就任時に国際協議会に出席しており、少なくとも 7 年以上ロータリアンであるものとする。

ガバナー候補者推薦状は、RI 細則 12 条 3 節 3 項を熟読の上、クラブ例会で採択された決議の形で、クラブ幹事が正式に証明した文書をもって、2026 年 11 月 30 日までに、竹中隆ガバナー事務所にご提出ください。尚、本年度は締め切り日が例年より 1 ケ月早くなっておりますので、ご留意ください。

送付先
〒 371-0855
前橋市問屋町 2-2 前橋問屋センター会館 1 階
竹中隆ガバナー事務所

国際ロータリー第 2840 地区 2026-2027 年度

ガバナー公式訪問要領

1. ガバナー公式訪問は、単独クラブ訪問とします。

2. 訪問時は、ガバナー、ガバナー補佐、及び地区幹事又は分区担当副幹事のいずれか 1 名の計 3 ～ 4 名が原則訪問します。

3. **公式訪問前クラブ協議会の実施**

   ガバナー補佐は、公式訪問前 2 週間前までに所管のクラブを訪問し、例会前後の時間等を利用してクラブ役員との協議会を実施し、各クラブの現況や課題、クラブの目標や地区運営に関する意見等について協議するとともに、公式訪問についての事前協議を行ってください。
   また、その結果を所定の様式にて公式訪問の 1 週間前までにガバナー事務所まで報告してください。上記は、数名のクラブ役員との懇談でも結構です。

4. **クラブ例会内での公式訪問の趣旨説明**

   ガバナー補佐は、公式訪問前のクラブの例会において、公式訪問の趣旨や要領、また、現状の地区運営の状況などを１０分～１５分程度、クラブ会員に対して説明し、出席を奨励してください

5. **公式訪問の進め方**

   （1）クラブ役員との懇談会〔例会前 50 分〕
   会長、幹事、会長エレクト、クラブ・ラーニング・ファシリテーター、副会長、会員増強委員長、公共イメージ委員長、クラブが課題と認識している担当委員長等、及び地区役員、インターアクト、ローターアクト提唱クラブは、各会長も出席してください。

   （2）例会
   ガバナースピーチとして２５分程度時間を割いてください。プロジェクター、スクリーンの準備をお願いします。

   （3）クラブ協議会〔例会後 60 分〕
   懇談会参加者のほか、各委員長、新入会員を義務出席とし、会員全員に出席を奨励してください。本年度は、特に地区とクラブの双方向性をキーワードとしておりますので、双方向の協議が十分できるような設営をお願いします。協議内容については以下の項目を入れてください。

   ①クラブの課題
   ②クラブの目標（特に会員増強計画）の進捗状況
   ③地区運営に関するクラブのご意見

6. **公式訪問の目的は、国際ロータリー細則に以下のように規定されています。**

   個々のクラブあるいは複数クラブ合同の例会への公式訪問を行うこと。その際には、以下を行うため、ガバナーの出席が最大限の成果を生むような機会を選ぶようにする。

   ①ロータリーの重要な問題に焦点を当て関心を持たせる。
   ②弱体クラブ、あるいは問題を抱えたクラブに関心を払う。
   ③奉仕活動参加へのロータリアンの意欲をかきたてる。
   ④クラブの定款と細則が、ロータリーの組織規程を遵守していることを確認する。
   ⑤顕著な貢献をした地区内のロータリアンをガバナー自ら表彰する。

7. 各クラブは現況報告書（4 部）を 8 月 31 日までにガバナー事務所に提出してください。
   9 月 12 日までに訪問するクラブは仮報告書を、訪問 2 週間前までに提出してください。

2026-2027年度　ガバナー公式訪問日程表

2026年 8月

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17 前橋北 （第 1 分区）	18	19	20 碓氷安中 （第 6 分区）	21	22
23／30	24 桐生 （第 2 分区 A）	25 伊勢崎南 （第 2 分区 B）	26	27 渋川 （第 5 分区）	28	29

2026年 9月

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
		1	2 新田富 （第 4 分区 A）	3 富岡中央 （第 6 分区）	4	5
6	7	8 太田南 （第 4 分区 A）	9 桐生南 （第 2 分区 A）	10 藤岡 （第 6 分区）	11 藤岡南 （第 6 分区）	12
13	14 伊勢崎東 （第 2 分区 B）	15 渋川みどり （第 5 分区）	16 富岡 （第 6 分区）	17	18	19
20	21	22	23	24 高崎東 （第 3 分区）	25	26
27	28	29	30	31		

2026-2027 年度　ガバナー公式訪問日程表

2026年 10月

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
				1 館林ミレニアム （第 4 分区 B）	2 前橋西 （第 1 分区）	3
4	5	6 高崎南 （第 3 分区）	7 前橋中央 （第 1 分区）	8 沼田中央 （第 5 分区）	9 館林 （第 4 分区 B）	10
11	12	13	14 ぐんま伊勢崎 （第 2 分区 B）	15 前橋東 （第 1 分区）	16 太田中央 （第 4 分区 A）	17
18	19	20 中之条 （第 5 分区）	21 前橋南 （第 1 分区）	22	23	24
25	26 高崎 （第 3 分区）	27 沼田 （第 5 分区）	28	29	30	31

2026年 11月

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
1	2	3	4 館林東 （第 4 分区 B）	5 群馬境 （第 2 分区 B）	6	7
8	9	10 高崎セントラル （第 3 分区）	11 大泉 （第 4 分区 B）	12	13 高崎シンフォニー （第 3 分区）	14
15	16	17 桐生赤城 （第 2 分区 A）	18 伊勢崎 （第 2 分区 B）	19 太田 （第 4 分区 A）	20	21
22	23	24 前橋 （第 1 分区）	25 太田西 （第 4 分区 A）	26	27	28
29	30	31				

2026年 12月

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
		1	2	3	4	5
6	7	8 富岡かぶら （第 6 分区）	9 高崎北 （第 3 分区）	10 伊勢崎中央 （第 2 分区 B）	11 桐生西 （第 2 分区 A）	12
13	14	15 安中 （第 6 分区）	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

2026-2027 年度　地区主要行事予定表

日付		時間帯	項目	場　所
2026年				
7月	01(水)		竹中ガバナー事務所開設	
	11(土)	10～	第１回ガバナー諮問委員会	ホテルメトロポリタン高崎
	11(土)	13～	第４回地区ラーニング・管理運営委員会	ホテルメトロポリタン高崎
	16(木)	18:30～	＜ロータリー野球大会コミッショナー会議＞	ニューいづみ
	18(土)	午前	(インターアクト年次大会)	メガネのイタガキ文化ホール
	25(土)	10:00～	★ロータリー財団委員会合同会議	前橋問屋センター会館
	25(土)	15:30～	★米山記念奨学生対象ロータリーセミナー	ホテルメトロポリタン高崎
	25(土)	17:30～	★(米山学友会総会)	ホテルメトロポリタン高崎
8月	01(土)	9～	(第１回地区補助金委員会)	前橋問屋センター会館
	08(土)	13～	(ＲＬＩファシリテーター研修会)	前橋問屋センター会館
	23(日)	午後	(青少年交換派遣学生選考会)	前橋問屋センター会館
	26(水)	12～	(米山指定校説明会)	前橋問屋センター会館
	29(土)	午前	＜ロータリー野球大会第１日目開会式＞	前橋桃ノ木川グランド
	30(日)	13:30	～クラブ活性化ワークショップ	前橋問屋センター会館
9月	01(火)		湯澤ガバナーエレクト事務所開設	
	05(土)	午後	ロータリー財団補助金管理セミナー	前橋問屋センター会館
	06(日)	終日	(ＲＬＩセミナーPartⅠ)	前橋問屋センター会館
	12(土)	午前	＜ロータリー野球大会第２日目＞	前橋桃ノ木川グランド
	19(土)	午前	＜ロータリー野球大会第3日目＞	前橋桃ノ木川グランド
	26(土)	午前	(米山記念奨学生カウンセラー研修会)	前橋問屋センター会館
	26(土)	午後	(地区米山記念奨学セミナー)	前橋問屋センター会館
	27(日)	12:30～	(青少年交換派遣学生帰朝報告会・受け入れ学生歓迎会)	
10月	04(日)	終日	(ＲＬＩセミナーPartⅡ)	前橋問屋センター会館
	17(土)	午前	＜ロータリー野球大会第4日目閉会式＞	前橋桃ノ木川グランド
	17(土)	午前	第２回ガバナー諮問委員会	前橋問屋センター会館
	17(土)	午後	第３回ガバナー補佐・委員長合同会議	前橋問屋センター会館
	17(土)	15:30～	第５回地区ラーニング・管理運営委員会	ガバナー事務所
11月	07(土)	9～	(第２回地区補助金委員会)	前橋商工会議所会館
	07(土)	午前	＜ロータリー野球大会予備日＞	前橋桃ノ木川グランド
	08(日)	終日	(ＲＬＩセミナーPartⅢ)	前橋問屋センター会館
	22(日)	14:30～	新会員セミナー	エルテラス(旧マリエール高崎)
	28(土)	午後	(米山記念奨学生選考会面接員オリエンテーション)	ホテルメトロポリタン高崎
	28(土)	夕方	(米山学友会忘年会)	ホテルメトロポリタン高崎
12月	05(土)	午後	第３回ガバナー諮問委員会	ロイヤルチェスター前橋
	05(土)	夕方	湯澤ガバナーエレクト壮行会	ロイヤルチェスター前橋
	12(土)		(ＲＹＬＡ研修セミナー)	(桐生)
	20(日)		(青少年交換HC・SCオリエンテーション・クリスマス会)	ホテルサンダーソン

2026-2027年度　地区主要行事予定表

日付		時間帯	項目	場　所	
2027年					
1月	10(日)～14(木)		国際協議会（湯澤ガバナーエレクト参加）	オーランド（フロリダ州）	
	17(日)	午後	（奉仕プロジェクトセミナー）	前橋問屋センター会館	
	23(土)	終日	（米山記念奨学生選考会）	前橋問屋センター会館	
	23(土)	13:00～	（第１回地区補助金予備審査会）	前橋商工会議所会館	
2月	13(土)	午前第	４回ガバナー諮問委員会・GE 報告会	前橋問屋センター会館	
	13(土)	午後	地区チームラーニングセミナー（湯澤年度）	前橋問屋センター会館	
	21(日)		午後青少年交換 HC・SC オリエンテーション		
	23(火･祝)		ロータリー創立記念日		
	27(土)	13:00～	（第2回地区補助金予備審査会）	前橋商工会議所会館	
3月	6(土)	17:00～	（米山記念奨学生終了式・歓送会）	ホテルメトロポリタン高崎	
	13(土)～14(日)		会長エレクト・次年度幹事ラーニングセミナー（湯澤年度）	前橋商工会議所会館	
	20(土)～21(日)		第 39 回全国ローターアクト大会	伊香保天坊	
	25(木)～28(日)		（インターアクト台湾国際交流事業・派遣）		
４月	03(土)	午前	第５回ガバナー諮問委員会前橋問屋センター会館	前橋問屋センター会館	
	03(土)	午後	第４回ガバナー補佐・委員長合同会議	前橋問屋センター会館	
	03(土)	15:30～	第６回地区ラーニング・管理運営委員会	前橋問屋センター会館	
	17(土)	9:00～	（第3回地区補助金予備審査会）	前橋商工会議所会館	
	17(土)	午前	（新規米山記念奨学生カウンセラーオリエンテーション）	前橋問屋センター会館	
	17(土)	午後	（新規米山記念奨学生・カウンセラーオリエンテーション）	前橋問屋センター会館	
	17(土)	午後	（継続米山記念奨学生資格審査面談）	前橋問屋センター会館	
	23(金)～24(土)		（インターアクト台湾国際交流事業・受入れ）		
	24(土)	午後	地区リーダーシップセミナー	ホテルメトロポリタン高崎	
	24(土)	夜	ＲＩ会長代理歓迎晩餐会	ホテルメトロポリタン高崎	
	25(日)	午後	地区大会式典	群馬音楽センター	
	25(日)	夜	地区大会懇親会	ホテルメトロポリタン高崎	
			ローターアクト会長エレクト・次年度幹事ラーニングセミナー		
			地区大会記念ゴルフ大会		
5月	15(土)	13:00～	地区補助金最終審査会	前橋商工会議所会館	
	16(日)	午後	青少年交換 HC オリエンテーション		※
	23(日)	終日	クラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナー（湯澤年度）	前橋商工会議所会館	※
6月	05(土)	午後	新会員セミナー		
	07(月)	14～	クラブ管理運営セミナー（湯澤年度）		
	12(土)		（ローターアクト年次大会）		
	19(土)	午後	第６回ガバナー諮問委員会		
	19(土)	午後	現新地区役員合同連絡会議		
	26(土)～30(水)		国際大会バルセロナ	バルセロナ	
	27(日)		（青少年交換受入学生歓迎会・派遣学生壮行会）		
			（米山記念奨学生指定校選定会議）		

※クラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナー（湯澤年度）が上記の５月 23 日（日）に変更となりました。
※青少年交換 HC オリエンテーションが上記の５月 16 日（日）に変更となりました。

2026-2027 年度　周年行事・IM 開催予定表

2026-2027 年度　周年行事予定クラブ

年	月	日	曜日	周年	クラブ名	場　　所
2026	11	8	日	55	桐生西RC	美喜仁桐生文化会館
2027	2	27	土	60	大泉RC	太田グランドホテル(予定)
2027	3	6	土	70	太田RC	ロイヤルチェスター太田
2027	4	10	土	70	渋川RC	プレヴェール渋川
2027	4	16	金	35	太田中央RC	ダニエルハウス
2027	4	17	土	50	前橋東RC	ロイヤルチェスター前橋
2027	5	8	土	45	前橋北RC	前橋商工会議所会館
2027	5	29	土	65	高崎南RC	ホテルメトロポリタン高崎
2027	6	12	土	30	桐生赤城RC	未定
未定				55	太田西RC	未 定

2026-2027 年度　IM 開催予定表

年	月	日	曜日	区　　分	場　　所
2027	2	9	火	第1分区	前橋商工会議所会館
2027	2	20	土	第2分区A	桐生地域地場産センター
2027	2	15	日	第2分区B	伊勢崎プリオ
				第3分区	
				第4分区A	
				第4分区B	
2026	11	20	金	第5分区	プリエール　渋川
2027	2	6	土	第6分区	

出席報告（7 月末日現在）・My Rotary 登録率

クラブ数	年度初（女性）	当月初（女性）	新会員（女性）	退会数（女性）	月末数（女性）	純増減（女性）
43	2007(183)	2003(183)	51(10)	9(0)	2049(193)	42(10)
	自クラブ出席率		当月出席率（メイク含む）		受入れメイク数	MyRotary 登録率（8月28日現在）
	70.9%		76.4%		104	75.05%

※純増減は年度初の会員数との対比となります。

	クラブ名	回数	自クラブ出席率	会員数（純増減は年度初数との対比となります）						メイク	出席率	受メイク入れ	MyRotary 登録率（8月28日現在）
				年度初（女性）	当月初（女性）	新会員（女性）	退会数（女性）	月末数（女性）	純増減（女性）				
第1分区	前橋	3	71.04%	123 (13)	123 (13)	2 (0)	4 (0)	121 (13)	-2 (0)	5	72.64%	1	86.89%
	前橋西	4	68.12%	54 (5)	54 (5)	2 (0)	0 (0)	56 (5)	2 (0)	3	66.62%	1	75.41%
	前橋東	3	61.27%	47 (3)	47 (3)	1 (0)	0 (0)	48 (0)	1 (0)	13	70.79%	1	77.55%
	前橋北	3	81.87%	77 (1)	77 (1)	1 (0)	0 (0)	78 (1)	1 (0)	82	80.36%	1	81.25%
	前橋南	4	66.50%	50 (3)	50 (3)	0 (0)	0 (0)	50 (3)	0 (0)	0	69.00%	0	84.00%
	前橋中央	4	80.21%	24 (5)	24 (5)	0 (0)	0 (0)	24 (5)	0 (0)	4	84.38%	0	80.00%
	合計		71.50%	375 (30)	375 (30)	6 (0)	4 (0)	377 (30)	2 (0)		73.97%	4	80.85%
第2分区A	桐生	2	65.36%	69 (10)	69 (10)	1 (0)	0 (0)	70 (10)	1 (0)	8	69.32%	7	80.00%
	桐生南	4	74.14%	36 (3)	36 (3)	1 (0)	0 (0)	37 (3)	1 (0)	12	82.78%	6	64.86%
	桐生西	5	70.81%	51 (11)	51 (11)	1 (0)	1 (0)	51 (11)	0 (0)	35	85.01%	8	90.20%
	桐生赤城	4	73.68%	41 (7)	41 (7)	2 (1)	0 (0)	43 (8)	2 (1)	43	81.60%	13	75.00%
	合計		71.00%	197 (31)	197 (31)	5 (1)	1 (0)	201 (32)	4 (1)		79.68%	34	77.52%
第2分区B	伊勢崎	4	90.09%	50 (2)	50 (2)	2 (1)	0 (0)	52 (3)	2 (1)	14	96.57%	2	96.15%
	群馬境	5	72.22%	23 (2)	23 (2)	0 (0)	0 (0)	23 (2)	0 (0)	0	72.22%	2	39.13%
	伊勢崎中央	4	72.96%	100 (10)	100 (10)	1 (0)	1 (0)	100 (10)	0 (0)	12	76.28%	1	69.61%
	伊勢崎南	3	76.39%	24 (2)	24 (2)	0 (0)	0 (0)	24 (2)	0 (0)	1	77.80%	3	100.00%
	伊勢崎東	3	57.59%	42 (3)	42 (3)	0 (0)	1 (0)	41 (3)	-1 (0)	0	57.59%	1	95.12%
	ぐんま伊勢崎	3	84.00%	34 (3)	34 (3)	14 (4)	0 (0)	48 (7)	14 (4)	0	84.00%	0	58.33%
	合計		75.54%	273 (22)	273 (22)	17 (5)	2 (0)	288 (27)	15 (5)		77.41%	9	76.39%
第3分区	高崎	3	60.79%	142 (12)	142 (12)	1 (0)	0 (0)	143 (12)	1 (0)	6	62.26%	1	55.56%
	高崎南	4	60.51%	65 (10)	65 (10)	0 (0)	0 (0)	65 (10)	0 (0)	21	71.28%	1	52.24%
	高崎北	3	60.50%	79 (1)	79 (1)	1 (0)	1 (0)	79 (1)	0 (0)	15	66.81%	1	62.03%
	高崎東	5	66.30%	29 (4)	29 (4)	0 (0)	0 (0)	29 (4)	0 (0)	2	67.43%	0	72.41%
	高崎シンフォニー	4	83.41%	46 (10)	46 (10)	0 (0)	0 (0)	46 (10)	0 (0)	4	85.62%	1	100.00%
	高崎セントラル	3	69.79%	32 (1)	32 (1)	0 (0)	0 (0)	32 (1)	0 (0)	4	73.96%	1	59.38%
	合計		66.88%	393 (38)	393 (38)	2 (0)	1 (0)	394 (38)	1 (0)		71.23%	5	66.93%

クラブ名		回数	自クラブ出席率	会員数 （純増減は年度初数との対比となります）						メイク	出席率	受入れメイク	MyRotary登録率 (8月28日現在)
				年度初（女性）	当月初（女性）	新会員（女性）	退会数（女性）	月末数（女性）	純増減（女性）				
第4分区A	太田	4	59.69%	67 (3)	67 (3)	0 (0)	0 (0)	67 (3)	0 (0)	1	60.06%	8	98.51%
	太田西	3	80.78%	11 (1)	11 (1)	0 (0)	0 (0)	11 (1)	0 (0)	4	100.00%	1	63.64%
	太田南	2	68.00%	49 (5)	49 (5)	1 (0)	0 (0)	48 (5)	-1 (0)	0	68.00%	8	97.92%
	新田	4	60.00%	20 (3)	20 (3)	0 (0)	0 (0)	20 (3)	0 (0)	3	63.75%	1	45.00%
	太田中央	4	55.17%	48 (7)	48 (7)	4 (1)	0 (0)	52 (8)	4 (1)	0	55.17%	7	84.31%
	合計		64.73%	195 (19)	195 (19)	5 (1)	0 (0)	200 (20)	5 (1)		69.40%	25	77.87%
第4分区B	館林	5	73.10%	49 (4)	49 (4)	1 (0)	1 (0)	49 (4)	0 (0)	10	77.50%	0	85.71%
	大泉	3	80.70%	23 (3)	23 (3)	1 (0)	0 (0)	24 (3)	1 (0)	2	84.21%	1	20.83%
	館林東	2	83.34%	9 (1)	9 (1)	0 (0)	0 (0)	9 (1)	0 (0)	1	91.67%	1	44.44%
	館林ミレニアム	2	65.04%	27 (1)	27 (1)	0 (0)	0 (0)	27 (1)	0 (0)	5	74.34%	0	100.00%
	合計		75.55%	108 (9)	108 (9)	2 (0)	1 (0)	109 (9)	1 (0)		81.93%	2	62.75%
第5分区	渋川	3	71.93%	60 (8)	60 (8)	0 (0)	0 (0)	60 (8)	0 (0)	29	89.00%	1	66.67%
	沼田	3	89.19%	68 (3)	68 (3)	2 (0)	0 (0)	70 (3)	2 (0)	0	89.19%	10	95.71%
	中之条	4	86.85%	16 (0)	16 (0)	1 (0)	0 (0)	17 (0)	1 (0)	0	86.85%	0	50.00%
	沼田中央	4	61.58%	48 (3)	48 (3)	3 (1)	0 (0)	51 (4)	3 (1)	54	89.28%	2	94.12%
	渋川みどり	4	54.13%	45 (6)	45 (6)	0 (0)	0 (0)	45 (6)	0 (0)	6	57.53%	0	95.56%
	合計		72.74%	237 (20)	237 (20)	6 (1)	0 (0)	243 (21)	6 (1)		82.37%	13	80.41%
第6分区	富岡	4	78.07%	44 (3)	44 (3)	1 (0)	0 (0)	45 (3)	1 (0)	6	82.12%	0	60.00%
	藤岡	3	73.77%	42 (3)	42 (3)	0 (0)	0 (0)	42 (3)	0 (0)	6	78.69%	3	80.95%
	安中	3	46.66%	55 (2)	55 (2)	0 (0)	0 (0)	55 (2)	0 (0)	15	55.63%	3	54.55%
	富岡中央	4	76.47%	35 (3)	35 (3)	1 (0)	0 (0)	36 (3)	1 (0)	9	82.92%	2	72.22%
	碓氷安中	2	66.66%	7 (0)	7 (0)	2 (0)	0 (0)	9 (0)	2 (0)	0	66.66%	1	66.67%
	藤岡南	2	80.77%	17 (0)	17 (0)	2 (1)	0 (0)	19 (1)	2 (1)	2	88.47%	2	68.42%
	富岡かぶら	3	61.29%	29 (3)	29 (3)	2 (1)	0 (0)	29 (4)	2 (1)	8	70.03%	1	48.39%
	合計		69.10%	229 (14)	229 (14)	8 (2)	0 (0)	237 (16)	8 (2)		74.93%	12	64.46%

新会員紹介



氏　名　**上野 陽一**
クラブ　前橋
入会日　2026年7月28日
職業分類　中央銀行
勤務先　日本銀行前橋支店
役　職　支店長
推薦者　深井 彰彦



氏　名　**牛込 保雄**
クラブ　前橋
入会日　2026年7月28日
職業分類　民間放送
勤務先　群馬テレビ㈱
役　職　常務取締役総務局長兼編集局長
推薦者　廣田 哲也



氏　名　**武井 勉**
クラブ　前橋
入会日　2026年8月18日
職業分類　不動産
勤務先　群馬土地㈱
役　職　代表取締役社長
推薦者　深井 彰彦



氏　名　**木村 匠吾**
クラブ　前橋中央
入会日　2026年8月5日
職業分類　土地家屋調査士
勤務先　匠吾登記測量事務所
役　職　代表
推薦者　五十嵐　力



氏　名　**岩丸 淳史**
クラブ　桐生西
入会日　2026年5月27日
職業分類　仏教
勤務先　福厳寺
役　職　住職
推薦者　坪井 良行



氏　名　**長沼 友輝**
クラブ　桐生赤城
入会日　2026年8月4日
職業分類　建築塗装
勤務先　ひかり建装（株）
役　職　代表取締役
推薦者　草処 晋一



氏　名　**伊丹 和枝**
クラブ　伊勢崎
入会日　2026年7月1日
職業分類　電気工事業
勤務先　アイケイ電機㈱
役　職　代表取締役
推薦者　久保木 雅彦、髙橋 郁夫



氏　名　**後藤 初樹**
クラブ　伊勢崎
入会日　2026年7月8日
職業分類　葬祭業
勤務先　㈱ライフシステム
役　職　日典伊勢崎店長・伊勢崎エリア長
推薦者　中川 一、臂 友幸
高橋 弘幸



氏　　名　**泉 宏彰**
クラブ　伊勢崎中央
入会日　2026年6月18日
職業分類　日本料理
勤務先　（株）泉屋本店
役　　職　代表取締役
推薦者　小林 正弘、上柿 敬一



氏　　名　**矢島 敏也**
クラブ　伊勢崎中央
入会日　2026年6月18日
職業分類　米販売
勤務先　矢島商店
役　　職　代表取締役
推薦者　栗原 弘充、美原 貫



氏　　名　**藤巻 伸一**
クラブ　伊勢崎中央
入会日　2026年6月18日
職業分類　保険業
勤務先　（株）オネット
役　　職　代表取締役
推薦者　高沢 克治　金井 利



氏　　名　**小保方 道子**
クラブ　伊勢崎中央
入会日　2026年6月30日
職業分類　石油販売
勤務先　（有）小保方石油
役　　職
推薦者　児島 清文



氏　　名　**木下 隆介**
クラブ　伊勢崎中央
入会日　2026年7月2日
職業分類　レストラン業
勤務先　（株）エムアンドケイ
役　　職　副社長
推薦者　上柿 敬一



氏　　名　**桜井 涼**
クラブ　太田南
入会日　2026年7月21日
職業分類　医療従事者
勤務先　株式会社 Neo physio
天元メディカル整体　太田院
役　　職　院長
推薦者　阿久澤 毅、小栗 和磨



氏　　名　**萩原 哲也**
クラブ　太田中央
入会日　2026年7月24日
職業分類　屋根外壁工事
勤務先　㈱鉄屋
役　　職　代表取締役
推薦者　大前 博史



氏　　名　**小池 宏明**
クラブ　中之条
入会日　2026年7月7日
職業分類　建設業
勤務先　拓友工業（株）
役　　職　代表取締役　社長
推薦者　都筑 秀雄



氏　　名　**林 眞人**
クラブ　中之条
入会日　2026年8月4日
職業分類　上下水道維持管理業
勤務先　株式会社アースウェイ
役　　職　専務取締役
推薦者　本嶋 茂雄

新会員入会実績報告（7 月末日現在）

クラブ名	年度初	新会員　入会目標	新会員　入会実績	達成率	目標残
43	**1973**	**137**	**37**	**27%**	**100**

	クラブ名	年度初	入会目標	入会実績	目標残	達成率
第1分区	前橋	123	2	2	0	100.0%
	前橋西	54	2	2	0	100.0%
	前橋東	47	5	1	4	20.0%
	前橋北	77	3	1	2	33.3%
	前橋南	50	5	0	5	0.0%
	前橋中央	24	3	0	3	0.0%
	合計	**375**	**20**	**6**	**14**	**30.0%**
第2分区A	桐生	69	4	1	3	25.0%
	桐生南	36	5	1	4	20.0%
	桐生西	51	4	1	3	25.0%
	桐生赤城	41	2	2	0	100.0%
	合計	**197**	**15**	**5**	**10**	**33.3%**
第2分区B	伊勢崎	50	10	2	8	20.0%
	群馬境	23	3	0	3	0.0%
	伊勢崎中央	100	2	1	1	50.0%
	伊勢崎南	24	3	0	3	0.0%
	伊勢崎東	42	2	0	2	0.0%
	ぐんま伊勢崎	34	10	14	-4	140.0%
	合計	**239**	**20**	**3**	**17**	**15.0%**
第3分区	高崎	142	10	1	9	10.0%
	高崎南	65	5	0	5	0.0%
	高崎北	79	3	1	2	33.3%
	高崎東	29	5	0	5	0.0%
	高崎シンフォニー	46	3	0	3	0.0%
	高崎セントラル	32	2	0	2	0.0%
	合計	**393**	**28**	**2**	**26**	**7.1%**

	クラブ名	年度初	入会目標	入会実績	目標残	達成率
第4分区A	太田	67	5	0	5	0.0%
	太田西	11	1	0	1	0.0%
	太田南	49	1	1	0	100.0%
	新田	20	2	0	2	0.0%
	太田中央	48	2	4	-2	200.0%
	合計	**195**	**11**	**5**	**6**	**45.5%**
第4分区B	館林	49	5	1	4	20.0%
	大泉	23	4	1	3	25.0%
	館林東	9	3	0	3	0.0%
	館林ミレニアム	27	1	0	1	0.0%
	合計	**108**	**13**	**2**	**11**	**15.4%**
第5分区	渋川	60	3	0	3	0.0%
	沼田	68	3	2	1	66.7%
	中之条	16	1	1	0	100.0%
	沼田中央	48	6	3	3	50.0%
	渋川みどり	45	2	0	2	0.0%
	合計	**237**	**15**	**6**	**9**	**40.0%**
第6分区	富岡	44	3	1	2	33.3%
	藤岡	42	2	0	2	0.0%
	安中	55	2	0	2	0.0%
	富岡中央	35	2	1	1	50.0%
	碓氷安中	7	2	2	0	100.0%
	藤岡南	17	2	2	0	100.0%
	富岡かぶら	29	2	2	0	100.0%
	合計	**229**	**15**	**8**	**7**	**40.0%**

＊上記の数値は新会員入会者のみの目標および実績を表記しております。退会者数はカウントしておりません。
よって各クラブの現在の会員数を示すものではありません。

国際ロータリー第２８４０地区
湯澤　晃ガバナーエレクト事務所　開設のご挨拶



2840 地区内ロータリアンの皆様

9月1日より下記の通り
「湯澤　晃ガバナーエレクト事務所」を
開設いたしましたのでご案内させていただきます。
今後とも、2840 地区活動へのご理解、ご協力のほど
よろしくお願い申し上げます。

2027 ～ 2028 年度　国際ロータリー第２８４０地区
湯澤　晃ガバナーエレクト事務所

所在地　：〒371-0855　群馬県前橋市問屋町２－２
　　前橋問屋センター会館 １F
ＴＥＬ　：０２７－２１２－２８４０
ＦＡＸ　：０２７－２１２－２８４１
E-mail　：yuzawa@rid2840.jp

開所時間：午前９時３０分～午後５時（土・日・祝日は休み）
事務局員　入山　こず江・佐藤　由紀恵

※当事務所は竹中 隆ガバナー事務所に併設となります。



「寄付をする」から、「何をするか」へ
― 私が考えるロータリー財団 ―

ロータリー財団について考えるとき、まず「寄付」を思い浮かべる方が多いと思います。
もちろん、財団への寄付は大切です。その寄付が集まり、世界や地域でさまざまな奉仕を可能にしています。
しかし、ガバナーとして多くのクラブを訪問し、多くのロータリアンの活動に触れる中で、私自身、財団をもう少し広く捉えるようになりました。

今、私が大切にしたいのは、「いくら寄付をするか」から、「その力で何をするか」へ。という視点です。

財団とは、寄付を集めるためのものではなく、一人ひとりの思いを行動へ、そしてインパクトへつなげるための力ではないかと考えています。

より良い社会を「つくる側」に

私には、大切にしたい考え方があります。
良い世の中に生きたいと思うのなら、その世の中をつくることを、自分も手伝わなければならない。
Making the world a better place.
より良い社会を願うだけではなく、自分もその「つくる側」に立つ。

その出発点は、一人ひとりのロータリアンです。

仕事をしているからこそ見える課題がある。地域で暮らしているから気づくことがある。ロータリー以外の活動や人とのつながりから得た視点もある。

そこで生まれた、「これは何とかしたい。」という思いを、クラブに持ち寄ってほしいと思います。
一人の思いに、仲間の知恵、職業、経験、人とのつながりが加われば、それはクラブの行動へと変わります。

そして、一つのクラブだけでは難しいことを、より大きな力へつなげることができる。
そこに、ロータリー財団があります。
ロータリアン個人は、思い、参加する人。
クラブは、その思いをつなぎ、行動にする場所。
財団は、その行動を支え、インパクトへつなげる力。
そんな関係であってほしいと、私は、思っています。

奉仕から財団を考える

だから、クラブには、
「補助金がある。今年は何に使おうか。」ではなく、
「私たちの地域には、何が必要なのか。」から始めてほしいと思います。

何を変えたいのか。
どんなインパクトを生み出したいのか。

そのために誰と手を取り合うのか。

そして最後に、「そのために財団をどう生かすか。」を考える。

財団から奉仕を考えるのではなく、奉仕から財団を考える。
必要であれば、行政、学校、企業、NPO、ローターアクトなど、クラブの外にも開いていけばいいでしょう。

同じロータリーであっても、同じクラブは一つとしてありません。
地域も、会員も、歴史も、得意なことも違います。
だからこそ、それぞれのクラブだからできる奉仕があるはずです。

ポリオから学ぶこと
そのことを世界規模で示しているのが、ポリオ根絶への挑戦だと思います。

ロータリーは、「世界からポリオをなくす」という明確な目標を掲げました。

そして世界中のロータリアンが、国際機関、各国政府、医療関係者、地域社会と手を取り合い、長い年月をかけて取り組んできました。

一人ではできない。
一つのクラブでもできない。
ロータリーだけでもできない。

だからこそ、Together.
そして、この長い挑戦が生み出したものは、ポリオ根絶に向けた成果だけではありません。

人材が育ち、疾病監視の仕組みが整い、ワクチンを届けるネットワークが築かれ、地域社会との信頼と経験が蓄積されました。

それらは、他の感染症や公衆衛生上の課題への対応にも生かされています。

一つの課題への挑戦が、次の課題を解決する力を生み出す。
私は、ここに財団が生み出すインパクトの大きな可能性を見ることができます。

インパクトを次へ
私たちの地域での奉仕も、同じではないでしょうか。

大切なのは、事業を実施したことだけではありません。

その結果、何が変わったのか。
そして、何が残ったのか。

人が育った。
新しいつながりが生まれた。
クラブに経験が蓄積された。

次の課題に取り組む力が生まれた。

事業そのものを続けることだけが、持続可能性ではありません。
次の課題を解決する力を残す。
そこまでが、私の考える持続可能なインパクトです。

私たちにできること

だから、財団への参加を「寄付」だけで考えないでほしいと思います。

ロータリアン一人ひとりには、地域や社会に目を向けてほしい。そこで得た気づきをクラブに持ち寄り、自分の職業、経験、人とのつながりを生かし、自分にできる方法で参加してほしい。

そしてクラブには、一人ひとりの思いを拾い、つなぎ、行動へ変えてほしい。その行動から生まれたインパクトを確かめ、次の奉仕へつないでほしいと思います。

もちろん、そのすべてを可能にするために、財団を寄付によって支えることも大切な参加です。

「寄付をする」から、「何をするか」へ。
「何をしたか」から、「何が変わったか」へ。

より良い世界を誰かにつくってもらうのではなく、私たち自身も、その「つくる側」に立つ。
Making the world a better place.

皆さんは、財団の力を使って何をしたいですか。

そして、皆さんのクラブは、地域にどんなインパクトを残したいですか。

ローターアクトを、もう一度考える
― Rotary のリブランディングから見えてきた新しい価値 ―

昨年度から私は、公共イメージ ICT 推進委員会に、ロータリーのリブランディングに取り組んでいただくようお願いしてきました。
リブランディングとは、ロゴやデザインを変えることではありません。
私たちがロータリーをどう見せたいかではなく、社会から Rotary がどう見えているのか。
そこから考えることが出発点だと思っています。

ロータリーには、120 年を超えて培ってきた奉仕の理念、人と人との信頼、職業を通じたつながり、地域との関係、世界に広がるネットワークがあります。
変えるのは、その価値ではありません。

しかし、価値があることと、その価値が社会に伝わっていることは同じではなでしょう。
だからこそ、
何を伝えるか。
誰が伝えるか。
誰に届けるか。
を考え直す。

変わらない価値を、今の社会に伝わる姿で届け直す。それが、私の考えるリブランディングです。

語る。そして、姿で示す

では、ロータリーの価値をどう伝えるのか。
私は二つあると思っています。
語ること。
そして、姿で示すこと。
なぜロータリーにいるのか。何を感じ、何を得たのか。自分の言葉で語る。
そして、地域で行動し、人とつながり、新しいことに挑戦する姿を見せる。

言葉と行動が重なったとき、ロータリーの価値は実感を伴って社会に伝わるのだと思います。

ローターアクトという可能性

リブランディングを考える中で、私は改めてローターアクトの持つ価値に注目するようになりました。Rotary には、ロータリークラブ、ローターアクトクラブ、そして衛星クラブ、複数のクラブのあり方があります。
その中で、ローターアクトクラブを「若い世代の活動の場」や「将来のロータリアンを育てる場」とだけ捉えるのでは、その可能性を狭めてしまいます。

ローターアクトクラブ自身が Rotary であり、自ら Rotary を語り、姿で示す主体です。
ローターアクターには、私たちとは異なる感性、言葉、行動のスタイル、そして社会との接点があります。
その違いを生かし、自分たちの方法で活動する。
それを見た人が、「これも Rotary なんだ」と感じる。

私は、この「これも」という広がりに大きな意味があると思っています。
「歴史のある奉仕団体」というこれまでのイメージに、「若い世代が自ら考え、行動している」「新しいことに挑戦している」「自分たちにも関われそうだ」という姿が加わる。
それは、ロータリーを若く見せるということではありません。

社会から見える Rotary の幅そのものを広げることです。

リブランディングを動かす力へ

リブランディングには、発信の方法だけではなく、社会に何を見せるのかというコンテンツが必要です。

ローターアクトクラブの活動。
そこに集う人。
新しい発想やつながり。
それらは、今の Rotary を社会に伝える力のあるコンテンツになり得ます。

しかし、ローターアクトをリブランディングのために利用するのではありません。
ローターアクトが自らの感性で活動し、語り、姿で示す。
その存在そのものが、社会から見える Rotary を変えていく。
私は、ローターアクトが Rotary のリブランディングを進める大きな推進力になり得ると考えています。

だからこそ、ローターアクトには、ロータリークラブと同じことを求めるのではなく、私たちにはない視点を持ち、違う方法を試し、私たちがまだ出会えていない人たちとつながってほしい。

そして、私たちロータリアンも、そこから学ぶ。

一方が一方に合わせるのではなく、それぞれの違いを生かすことで、Rotary の可能性はもっと広がるのではないでしょうか。

リブランディングを考える中で、私はローターアクトをこれまでとは少し違う視点から見るようになりました。

皆さんには、今、ローターアクトがどのように見えていますか。
そこに、まだ私たちが気づいていない Rotary の可能性はないでしょうか。

ロータリー国際大会を考える
― その旅を価値あるものにするのは、自分自身 ―

ロータリーの国際大会に参加する意味とは、何でしょうか。

世界中のロータリアンが集まり、ロータリーの今と未来に触れる。それはもちろん、国際大会の大きな意義です。

しかし私は、参加する目的は一人ひとり違ってよいと思っています。

ロータリーをもっと知りたい。
世界のロータリアンと出会いたい。
仲間との時間を楽しみたい。
開催地や、その先の土地を訪ねてみたい。

どれも立派な参加の理由です。

私はこれまで、「同じロータリーでも、同じクラブは一つもない」と考えてきました。それは世界に目を向ければ、なおさらです。
国や文化、歴史、言葉が違えば、ロータリーへの向き合い方も違う。それでも「Rotary」という一つの名前のもとに、世界中から人が集まってくる。
その光景を目の前にすると、普段、地区やクラブの中から見ているロータリーとは違う姿が見えてきます。

ロータリーを、身をもって感じる
近年、国際大会の登録料は決して安くありません。円安の影響もあり、日本から参加する私たちにとって、航空運賃や宿泊費を含めた負担は大きくなっています。

「そこまでして行く意味があるのか」

そう考えるのは当然でしょう。

だからこそ、せっかく行くのであれば、私は一つだけでも自分なりの目的を持ってほしいと思います。
「私は、この国際大会でロータリーの何に触れたいのか」
世界の奉仕活動かもしれない。
新しいクラブのあり方かもしれない。
若い世代の活躍かもしれない。
あるいは、たまたま隣に座った外国のロータリアンとの会話かもしれません。

ロータリーを知る方法は、資料を読むことだけではありません。

人と出会い、話し、その空気の中に身を置く。
世界中のロータリアンが集う華やかさと熱気の中で、ロータリーの大きさと多様さを、身をもって感じる。

それが国際大会ならではの経験だと思います。

ロータリーを開いて、外へ出る
私は今年度、「ロータリーを開く」と申し上げています。
それは、ロータリーの中だけを見るのではなく、外の世界に目を向け、そこで得たものをロータリーへ持ち帰ることでもあります。

ロータリアンの人生は、ロータリーだけでできているわけではありません。
仕事があり、家庭があり、地域との関わりがあり、趣味があり、そして旅があります。
そこで得た出会いや気づきがロータリーを豊かにし、ロータリーで得た経験が、また私たちの人生を豊かにする。

私は、そんな循環があってこそ、ロータリーは人生の柱の一つになっていくのだと思っています。

国際大会も同じです。

国際大会の、その先へ
せっかく遠くまで行くのです。
大会が終わったら、もう少し足を伸ばしてみる。

街を歩く。
歴史や文化に触れる。
現地の人と話す。
仲間と食事をする。
少し遠くの街まで旅をする。

それでいいのだと思います。
むしろ、そこにも国際大会へ行く価値があるのではないでしょうか。
普通の旅行なら「いつか行こう」で終わってしまう場所も、国際大会があるから行ってみようと思える。

国際大会は、ロータリーに触れる機会であると同時に、新しい世界へ自分を開く旅へのきっかけでもある。

そう考えると、旅の楽しみ方も変わってきます。

行く前から、帰ったあとまで
旅は、出発する前から始まっています。

どこへ行こうか。
何を見ようか。
何を食べようか。
誰と行こうか。

仲間と計画を立てる時間から、すでにワクワクは始まっています。

そして現地では、ロータリーに触れ、街に触れ、人に触れ、仲間と一緒に動く。

Together. Have fun.
これもまた、私が大切にしたいロータリーです。

そして帰ってきたら、それで終わりではありません。

写真を見ながら思い出す。
仲間と何度も同じ話をする。
笑いながら「あれはよかった」と振り返る。

そうして経験を反芻しているうちに、旅先では気づかなかったものが見えてくることがあります。

「あの国のロータリーは面白かった」
「あの活動は自分たちのクラブでもできるかもしれない」
「あの人の考え方は心に残った」

そこで初めて、旅で得たものが自分のロータリーへ戻ってくるのかもしれません。

費用に見合った中身にするのも、あなた次第

登録料も高い。
旅費もかかる。
時間も必要です。

だから、私は「ロータリアンだから、必ず国際大会へ行くべきだ」とは申し上げません。
ロータリーへの関わり方に、唯一の正解はないからです。

けれど、もし行くのであれば、大会だけを見て帰るのは少しもったいない。

ロータリーに触れる。
世界に触れる。
仲間と語る。
旅を楽しむ。
そして、その経験を自分の人生と、自分のクラブへ持ち帰る。

国際大会という一つの機会を、どこまで広げるか。

費用に見合った中身にするのも、あなた次第です。

そして、その旅を終えたとき、

あなたの中の「ロータリー」は、出発する前と少し違って見えているでしょうか。

私は、それこそが国際大会へ出かける、もう一つの意味なのではないかと思います。

ロータリーにつながり続けるために
― クラブと会員の関係を考える ―

クラブ間の会員の流動性について考えてみたいと思います。

私は、一つひとつのクラブを大切に思っています。
それぞれのクラブには歴史があり、文化があり、地域とともに積み重ねてきた奉仕があります。仲間との絆やクラブへの愛着も、ロータリーのかけがえのない価値です。
だから、クラブから会員が離れることは残念です。

しかし、ガバナーとして地区全体を見たとき、それ以上に残念に思うことがあります。
一つのクラブを離れることをきっかけに、その人がロータリーそのものから離れてしまうことです。

クラブも大切にしたい。
そして、一人ひとりのロータリアンも大切にしたい。
その両方をどう実現するのか。

会員の流動性を考えることは、クラブと会員の関係そのものを考えることなのだと思います。
クラブを離れても、ロータリーを離れない
仕事、家庭、社会との関わり、ライフステージが変われば、ロータリーに使える時間も、取り組みたい奉仕も、クラブに求めるものも変わります。

自分が目指す活動とクラブの方向が合わなくなることもあるでしょう。
そのとき、今のクラブに残るか、ロータリーを辞めるか。その二つしか選択肢がないのでしょうか。

私は、別のクラブでロータリーを続けるという選択肢があってよいと思っています。

一つのクラブから見れば退会です。しかし、その人が別のクラブで活動を続けるのであれば、地域全体では一人のロータリアンを失わずに済みます。

クラブを離れることと、ロータリーを離れることは同じではありません。

まず、語り、聞き、対話する
だからといって、「合わなければ移ればよい」ということではありません。
その前に、できることがあります。
会員自身が「こんな奉仕をしたい」「こんな形で関わりたい」と自分の思いを語る。そしてクラブが、その声に耳を傾けることです。
すべての提案を受け入れる必要はありません。クラブには歴史や文化があり、他の会員にもそれぞれの考えがあります。
しかし、すべての提案を受け入れる必要はなくても、すべての声には耳を傾ける。

そして、提案する側も異なる考えに耳を傾ける。
まず語る。互いに聞く。対話する。

その中から「このクラブでこれからも活動したい」という思いが生まれることが、何より望ましいと思います。

それでも方向が重ならないのであれば、別のクラブを選ぶこともできる。

そして、自分たちが求めるクラブがなければ、新しいクラブをつくることも選択肢の一つです。
新しいクラブは、既存クラブを否定するためではなく、異なる活動や例会の形、世代や生活スタイルに、新しいロータリーへの入口をつくるものでありたいと思います。

選択があるからこそ、敬意を

一方で、会員の流動性がクラブ間の会員の奪い合いになってはなりません。

既存のロータリアンがクラブ間を移動するだけでは、地域全体のロータリアンは増えません。
そして、クラブを移るということは、単に所属が変わるだけではありません。そこには、それまでともに活動してきた仲間がいます。

かつては、他クラブへ移るときには「仁義を切る」といった不文律のようなものもありました。
その形をそのまま残す必要はないかもしれません。しかし、その根底にあった、仲間への敬意やクラブ同士の信頼を大切にする精神は失ってはならないと思います。

動かないことを求めるのではなく、動くときにも敬意を失わない。
会員の意思を尊重することと、クラブや仲間を尊重することは両立できるはずです。

選ばれ続けるクラブへ

会員に選択肢があるということは、クラブもまた会員から選ばれるということです。

なぜ、このクラブなのか。
会員はここで何を感じているのか。
一人ひとりの思いや経験を生かせているのか。

会員が離れようとしてから考えるのではなく、日頃から問い続ける。
会員が「ここで活動したい」と思えるクラブであり続けるために、自らを見つめ、変わるべきところは変えていく。

私は、そんなクラブを地区として支えていきたいと思います。

そして、もう一歩踏み込めば、すべてのクラブを現在の形のまま残すこと自体が、地区の目的ではないと考えています。

地域も社会も会員も変わります。
長い歴史は大切です。しかし、その時代、その地域、そして会員にとって価値ある存在であり続けるからこそ、クラブは未来へつながっていく。

クラブを守ることと、現在のクラブの形を守ることは同じではありません。

自らの価値を問い、会員の声を聞き、地域に必要とされる存在であろうとする。その努力を続けるクラブを、地区として支えていきたいと思います。

価値あるロータリーライフへ

会員の流動性そのものが、Membership を増やすわけではありません。

今のクラブで活動する。別のクラブで続ける。新しいクラブをつくる。そして、まだロータリーに出会っていない人を新しい仲間として迎える。

その結果として、地域全体でロータリアンが増え、奉仕の力が大きくなることが大切です。

そして、私は単にロータリーに籍を置き続けてほしいのではありません。

一人ひとりが、自分はロータリーで何をしたいのかを考え、仲間と出会い、奉仕に関わり、新しい経験をし、自分自身も成長する。

その人にとって価値あるロータリーライフを送ってほしい。

そのためにクラブがあるのだと思います。

だから私は、クラブを大切にしたい。そして、そのクラブをつくっている一人ひとりのロータリアンも大切にしたい。

地区として目指したいのは、単にクラブの数を守ることではありません。

価値あるクラブと、価値あるロータリーライフを増やしていくこと。

一人ひとりの会員にとって価値があり、地域からも必要とされるロータリーを、どう未来へつないでいくのか。

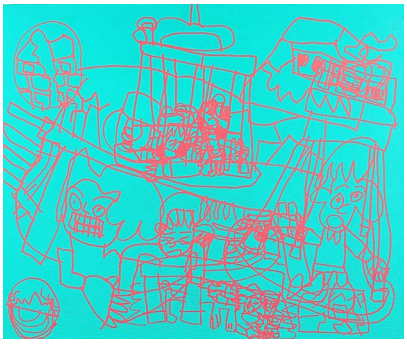
私たちが未来へ残したいのは、クラブという形でしょうか。

それとも、そこに集う人たちが価値を感じ、地域に必要とされるロータリーでしょうか。

皆さんと一緒に考えていきたいと思います。

表紙説明

タイトル：じしん
作者：金子耕大



金子君は「線」の人だ。家族と行った場所、気になった物、お世話になった人を描く。時には病院の先生、時には乗った電車――最近では、何を描きたいかを話してくれるようにもなった。線と文字を重ねるため、一見するとぐちゃぐちゃになっているようにも見えるが、全体で一つの形を成している。 じっくりと線を追っていくと見えてくるものがあり、タイトルにも注目すべきだ。

解説文：
「地震」というワードの強烈さもあってか、この作品は実はあまり日の目を浴びていない。 確か、避難訓練の後に描かれた作品だったと思う。中央下に配置された男の子は机の下で丸まっており、その頭上ではさまざまな出来事が起きている。 彼の作品は、絵の上からさらに絵を重ねて描くため、最終的には一見すると何が何だかわからないものが生まれる。しかし、一つひとつを丁寧に紐解いていけば、何かが見えてくる――そんな魅力を持った作品だ

高崎市本町にある NPO 法人工房あかねが運営する障害福祉事業所「アトリエ ART・ON」では、利用者が自由に自己表現を楽しみながら創作活動に取り組んでいます。絵画や工作、刺繍など、スタッフと共に多彩な制作を行い、その成果は展示会への出展やアートグッズとしての展開など、さまざまな形で発信されています。

ガバナー事務所よりお願い

■ガバナー月信に関して

・原稿の締め切りは、毎月 15 日です。ワードまたはエクセル書式で作成の上、メール添付し竹中隆ガバナー事務所（takenaka@rid2840.jp ）まで送信してください。なお、写真等の画像がある場合は、デジタルデータでお送りください。

・新会員情報並びに訃報の締切りは、毎月 15 日です。（15 日以降のご連絡分につきましては、次月号の掲載となります。）新会員につきましては氏名、入会日、職業分類、勤務先、役職、推薦者氏名を記入の上、写真を添えて、ガバナー事務所ホームページの専用欄かメールにてお送りください。
なお、訃報につきましてはクラブ会長様に 250 字以内で追悼文を作成いただき、ご連絡をお願いいたします。

■ガバナー事務所に関して

・ガバナー事務所の開所時間は従前どおり午前 10 時から午後 5 時となっておりますのでよろしくお願いいたします。尚、原則として正午から午後 1 時までは昼休みとなっております。

■月信への寄稿のお願い

・毎月 1 日に発刊しているガバナー月信ですが、是非とも第 2840 地区の各クラブで行われた奉仕事業やクラブの自慢などを、月信に寄稿してみませんか？
原稿締め切りは毎月 15 日になります。原稿を 15 日以前にガバナー事務所宛にメールしていただければ翌月号に掲載させていただきます

Rotary

竹中 隆 ガバナー事務所

〒 371-0855 群馬県前橋市問屋町 2-2　前橋問屋センター会館 1F
TEL: 027-212-2840　FAX: 027-212-2841